INDEX

記号

.pcap ファイルへのキャプチャされたパケットの保存、Wireshark **57-5**

数字

10/100 自動ネゴシエーション機能、強制 **8-21**

10 ギガビット イーサネット ポート

ギガビット イーサネット SFP ポートの配置 **8-13, 8-14**

10 ギガビット イーサネット ポートまたはギガビット イーサネット ポート

WS-X4606-10GE-E および Supervisor Engine 6-E への配置 **8-14**

1400 W DC SP トリプル入力電源装置

特記事項 **13-19**

1400 W DC 電源装置

特記事項 **13-18**

802.10 SAID（デフォルト） **16-5**

802.1AE

標準 **44-2**

802.1Q

他の機能を備えたトンネル ポート **28-6**

トランク **21-6**

トンネリング

説明 **28-2**

他の機能との互換性 **28-5**

デフォルト **28-3**

802.1Q VLAN

トランクの制約事項 **18-5**

802.1s

「MST」を参照

802.1w

「MST」を参照

802.1X

「ポートベースの認証」を参照

802.1x-REV **44-2**

802.1X 許可ステートのポート **45-5**

802.1X 認証

MAC 認証バイパスを使用 **45-12**

VLAN ユーザ分散 **45-16**

VLAN 割り当てを使用 **45-10**

Web ベース認証 **45-14**

音声 VLAN ポートを使用 **45-22**

クリティカル認証 **45-14**

ゲスト VLAN を使用 **45-11**

単方向制御ポート用 **45-15**

認証失敗 VLAN 割り当て **45-17**

ポート セキュリティによる **45-19**

802.1X ホスト モード **45-6**

単一ホスト **45-7**

マルチドメイン認証モード **45-7**

マルチ認証モード **45-8**

802.1X 無許可ステートのポート **45-5**

802.3ad

「LACP」を参照

A

AAA **49-1**

AAA（認証、許可、アカウンティング）。「ポートベースの認証」も参照 **47-2**

ACE

ACL **52-2**

IP **1-42, 52-2**

レイヤ 4 演算の制約事項 **52-10**

ACE および ACL **49-1**

ACL
ACE 52-2
CPU への影響 52-12
IP、ポート ACL の一致基準 52-4
MAC 拡張 52-14
SPAN 56-6
Supervisor Engine 6-E の TCAM プログラミング 52-10
Supervisor Engine II-Plus から V-10GE の TCAM プログラミング 52-7
VLAN マップ 52-5
VLAN マップでの設定 52-27
同じスイッチでの互換性 52-3
概要 52-2
高 CPU のトラブルシューティング 52-7
サポートされるタイプ 52-3
処理 52-12
スイッチド パケットへの適用 52-27
制御パケットのキャプチャのモード選択 52-7
ダウンロード可能 47-7
ハードウェアおよびソフトウェアのサポート 52-6
ポート
音声 VLAN 52-5
定義済み 52-3
ルータ ACL の一致基準 52-3
ルーテッド パケットへの適用 52-28
レイヤ 3 インターフェイスへの IPv6 ACL の適用 52-18
ACL および VLAN マップ、例 52-20
ACL の設定、レイヤ 2 インターフェイスを表示する 52-34
ACL、レイヤ 2 インターフェイスに適用する 52-34
ACL 割り当てとリダイレクト URL、設定 45-38
ACL 割り当て、ポートベースの認証 45-20
ANCP クライアント
DHCP オプション 82 によるポートの識別 37-4
イネーブル化および設定 37-2
概要 37-1
注意事項および制約事項 37-5
プロトコルによるポートの識別 37-2
ANCP プロトコル
ポートの識別 37-2
AQM、DBL 経由の、Supervisor Engine 6-E での QoS 41-35, 41-71
ARP
定義済み 4-38
テーブル
アドレス解決 4-38
管理する 4-38
authentication open コマンド 45-8
Auth Manager サマリー、表示 45-122
Auth Manager セッション、インターフェイスの、確認 45-123
Auto-MDIX、ポート上の
概要 8-31
設定 8-31
設定の表示 8-32
Auto Smartports マクロ
IOS シェル 20-2, 20-11
イネーブル化 20-4
組み込みマクロ 20-5
設定時の注意事項 20-5
定義 1-2, 20-1
デフォルト設定 20-4
表示 20-14
「Smartports マクロ」も参照
Auto SmartPort 組み込みマクロ
パラメータの設定 20-7
Auto SmartPort ユーザ定義マクロ
設定 20-11
auto-sync コマンド 10-8, 11-8

B

BackboneFast
MST 21-24
概要 24-14
サポートされていない MST 21-24
スイッチの追加（図） 24-4

設定 24-17
リンク障害（図） 24-15, 24-16
「STP」も参照
BFD
およびハードウェア サポート 38-7
制約事項 38-2
設定
BGP のサポート 38-9
EIGRP のサポート 38-10
OSPF のサポート 38-11
Slow timer 38-16
インターフェイスのセッション パラメータ 38-8
エコー モード 38-15
スタティック ルーティングのサポート 38-14
ダイナミック ルーティング プロトコルのサポート 38-9
設定例
BGP ネットワークでの BFD 38-26
OSPF ネットワークでの BFD 38-22
スタティック ルーティングのサポート 38-28
デフォルトでイネーブルのエコー モードでの EIGRP ネットワークでの BFD 38-18
前提条件 38-2
動作 38-3
ネイバー関係 38-3
非対称性のないエコー モードのディセーブル化 38-16
モニタリングおよびトラブルシューティング 38-17
b flash コマンド 72-3
BGP 1-18
Multi-VRF CE によるルーティング セッション 40-13
boot bootldr コマンド 3-33
boot system flash コマンド 3-29
boot system コマンド 3-27, 3-33
boot コマンド 3-29, 72-3
BPDU
疑似ブリッジ 21-26
内容 21-4
メディア速度 21-2
BPDU ガード
MST 21-24
概要 24-8
設定 24-17
b コマンド 72-3

C

Call Home
アラート グループ 66-6
重大度しきい値 66-8
情報の表示 66-14
説明 1-25, 66-2
通信のテスト 66-11
デフォルト設定 66-19
メッセージ
形式オプション 66-2
メッセージ形式オプション 66-2
call home 66-1
mail-server プライオリティ 66-10
smart call home の機能 66-2
SMTP サーバ 66-9
宛先プロファイル 66-5
定期的な通知 66-8
電子メール オプションの設定 66-9
パターン マッチング 66-9
レート制限メッセージ 66-9
連絡先情報 66-4
Call Home 宛先プロファイル
属性 66-5
call home 宛先プロファイル
設定 66-5
説明 66-5
表示 66-17
Call Home アラート グループ
説明 66-6
call home アラート グループ
設定 66-6

登録 **66-7**
Call Home 通知
syslog のフルテキスト形式 **66-26**
call home 通知
syslog の XML 形式 **66-29**
call home の連絡先
情報の割り当て **66-4**
CDP
LLDP での定義 **30-1**
インターフェイス上でのイネーブル化 **29-3**
概要 **1-3, 29-1**
コミュニティ内の自動検出 **15-7**
設定 **29-2**
設定の表示 **29-3**
ホスト表示の検出 **45-8**
メンテナンス **29-3**
モニタリング **29-3**
レイヤ 2 プロトコル トンネリング **28-13**
cdp enable コマンド **29-3**
CEF **34-9**
NSF/SSO **12-5**
イネーブル化 **34-6, 69-2**
概要 **34-1**
ソフトウェア スイッチング **34-4**
統計情報の表示 **34-8**
ハードウェア スイッチング **34-4**
隣接関係テーブル **34-2**
ロード バランシング **34-6**
ロード バランシングの設定 **34-7**
CFM
EtherChannel サポート **64-8, 65-4**
IP SLA ping またはジッタの手動による設定 **64-19**
IP SLA サポート **64-6**
VLAN のクロスチェックの設定 **64-12**
Y.1731
説明 **64-27**
イーサネット OAM、設定 **64-52**
イーサネット OAM の相互動作 **64-52**
エンドポイント検出を使用した IP SLA **64-22**
クリア **64-32**
クロスチェック **64-5**
障害アラーム
設定 **64-17**
障害アラームの設定 **64-17**
スタティック RMEP、設定 **64-13, 64-14, 64-17, 64-18**
スタティック RMEP チェック **64-5**
スタティック リモート MEP の設定 **64-13, 64-14, 64-17, 64-18**
設定時の注意事項 **64-8, 65-4**
定義 **64-2**
ネットワーク パフォーマンスの測定 **64-6**
ポート MEP、設定 **64-15**
ポート MEP の設定 **64-15**
メンテナンス ドメイン **64-2**
モニタリング **64-32, 64-33**
リモート MEP **64-5**
CGMP
概要 **26-1**
channel-group group コマンド **25-8, 25-11**
Cisco 7600 シリーズ インターネット ルータ
SNMP のイネーブル化 **71-4, 71-5**
Cisco Discovery Protocol
「CDP」を参照
Cisco Group Management Protocol
「CGMP」を参照
Cisco IOS IP SLA **67-2**
Cisco IOS NSF 対応サポート **12-2**
Cisco IOS NSF 認識
サポート **12-2**
Cisco IP Phone
音質 **42-1**
設定 **42-3**
Cisco TrustSec
クレデンシャル **44-10**
スイッチ間セキュリティ
802.1x モード **44-11**
設定例 **44-14**

スイッチ間のセキュリティ
手動モード 44-13
Cisco TrustSec ネットワーク デバイス アドミッション コントロール
「NDAC」を参照
CiscoWorks 2000 60-4
CIST
説明 21-23
clear cdp counters コマンド 29-4
clear cdp table コマンド 29-4
clear counters コマンド 8-37
clear ip eigrp neighbors コマンド 33-20
clear ip flow stats コマンド 61-10
CLI
1 レベル後退 2-5
ROM モニタ 2-8
アクセス 2-2
環境のモニタリング 56-1
クラスタを管理する 15-13
コマンドの取得 2-5
ソフトウェアの基礎知識 2-4
ヒストリ置換 2-4
モード 2-5
CoA 要求コマンド 45-97
config-register コマンド 3-30
config terminal コマンド 3-10
configure terminal コマンド 3-30, 8-2
confreg コマンド 72-3
copy running-config startup-config コマンド 3-11
copy system:running-config nvram:startup-config コマンド 3-33
CoS
Cisco IP Phone での変更 42-5
図 41-2
定義 41-4
プライオリティ 42-5
CPU、ACL 処理の影響 52-12
CPU ポートのスニッフィング 56-12
CST
IST 21-23
MST 21-23
説明 21-26
Customer Edge デバイス 40-2
C-VLAN 1-2, 28-7

D

description コマンド 8-23
dev コマンド 72-3
DHCP
DoS 攻撃、防止 51-14
設定
着信パケットのレート制限 51-14
パケットのレート制限
設定 51-14
DHCP オプション 82
概要 51-4
ポートの識別 37-4
DHCP スヌーピング
イネーブル化 51-8
イネーブル化、オプション 82 51-11
オプション 82 データ挿入 51-4
概要 51-1
集約スイッチ上でのイネーブル化 51-10
情報の表示 51-20
スヌーピング データベース エージェント 51-3
設定 51-7
設定の表示 51-20
データベース エージェントのイネーブル化 51-14
デフォルト設定 51-8
バインディング テーブルの表示 51-20
非信頼パケット形式エッジ スイッチを受信する 51-11
プライベート VLAN 上でのイネーブル化 51-13
メッセージ交換プロセス 51-4
モニタリング 51-25
DHCP スヌーピング データベース エージェント
TFTP ファイルからの読み取り（例） 51-18

イネーブル化（例） 51-16
概要 51-3
データベースへの追加（例） 51-19
DHCP ベースの自動設定
BOOTP との関係 3-3
概要 3-2
クライアント要求メッセージの交換 3-3
設定
サーバ側 3-4
設定する
DNS 3-5
TFTP サーバ 3-5
クライアント側 3-3
リレー デバイス 3-6
リース オプション
IP アドレス情報 3-4
設定ファイルを受信する 3-4
例 3-7
DiffServ アーキテクチャ、QoS 41-2
DiffServ コード ポイント値
「DSCP 値」を参照
dir device コマンド 72-3
disconnect コマンド 9-7
DNS
DHCP ベースの自動設定と 3-5
概要 4-15
設定する 4-16
設定を表示する 4-17
デフォルト設定 4-16
DoS 攻撃
IP アドレス スプーフィング、軽減 35-5
ユニキャスト RPF、展開 35-5
DSCP 値
IP precedence 41-2
定義 41-4
duplex コマンド 8-22
Dynamic Host Configuration Protocol スヌーピング
「DHCP スヌーピング」を参照

E

EAPOL フレーム
802.1X 認証 45-3
OTP 認証、例（図） 45-4, 45-13
開始 45-4
EAP フレーム
Request/Identity 45-4
Response/Identity 45-4
交換（図） 45-4, 45-6, 45-13
再送信回数の設定 45-84
再送信時間の変更 45-82
EGP
概要 1-18
EIGRP
設定例 33-20
モニタリングおよびメンテナンス 33-20
eigrp stub コマンド 33-19
EIGRP（拡張 IGRP）
概要 1-18
スタブ ルーティング
概要 33-14
確認 33-19
制約事項 33-18
設定 33-14
設定作業 33-19
利点 33-18
EIGRP スタブ ルーティング、設定 33-13
ELIN ロケーション 30-3
enable コマンド 3-9, 3-30
Enhanced Interior Gateway Routing Protocol
「EIGRP」を参照
Enhanced PoE サポート、E シリーズでの 14-16
EPM ロギング 45-126
errdisable 回復
設定 14-15
EtherChannel
channel-group group コマンド 25-8, 25-11

DFC の制限事項、リリース ノートの「CSCdt27074」を参照
interface port-channel コマンド 25-8
lacp システム プライオリティ
コマンド例 25-14
「MEC」を参照 5-14
PAgP
概要 25-4
port-channel load-balance コマンド 25-15
Virtual Switch System への表示 25-16
インターフェイスの削除 25-15
概要 5-2, 25-2
削除 25-16
設定 25-7 ～ 25-16
設定（作業） 5-30
設定時の注意事項 5-30, 25-6
物理インターフェイス設定 25-8
ポートチャネル インターフェイス 25-2
モード 25-3
レイヤ 2 の設定 25-10
レイヤ 3 の設定 25-7
EtherChannel ガード
イネーブルにする 24-6
概要 24-6
ディセーブルにする 24-7
Extensible Authentication Protocol over LAN 45-2
Exterior Gateway Protocol
「EGP」を参照
E シリーズでの Enhanced PoE サポート、ユニバーサル PoE を設定する 14-17

F

Fa0 ポート
「イーサネット管理ポート」を参照
fastethernet0 ポート
「イーサネット管理ポート」を参照
Fast UDLD
インターフェイスごとにイネーブル化 31-7
インターフェイスごとのイネーブル化 31-6
グローバルにイネーブル 31-5
使用例 31-2
ディセーブルになった LAN インターフェイスのリセット 31-8
デフォルト設定 31-3
動作モード 31-3
プローブ メッセージ インターバルの設定 31-8
リンク ステータスの表示 31-8
Fast UDLD、概要 31-1
FIB
「MFIB」も参照
説明 34-2
Flexible NetFlow
注意事項 63-1, 63-8
定義 1-4, 63-1
Flex Link
VLAN ロード バランシングを設定する 22-9
設定 22-6, 22-7
設定時の注意事項 22-6
モニタリング 22-13
優先 VLAN の設定 22-10
frame コマンド 72-5

G

get-bulk-request オペレーション 60-3
get-next-request オペレーション 60-3, 60-4
get-request オペレーション 60-3, 60-4
get-response オペレーション 60-3
GLBP、概要 1-16

H

hello タイム（STP）
設定 21-18
HSRP
説明 1-17
HSRP、概要 1-17

http
//www.cisco.com/en/US/docs/ios/fnetflow/configuration/guide/12_4t/fnf_12_4t_book.html 63-1
hw-module module num power コマンド 13-20

I

ICMP
IP traceroute の実行 9-9
ping 9-7
Time-Exceeded メッセージ 9-9
イネーブル化 9-12
ICMP エコー動作
IP SLA 67-11
設定する 67-11
IDS
SPAN と RSPAN で使用 56-3
IEEE 802.1ag 64-2
IEEE 802.1s
「MST」を参照
IEEE 802.1w
「MST」を参照
IEEE 802.3ad
「LACP」を参照
IGMP
イネーブル化 36-15
設定可能な脱退タイマー 26-4
説明 36-3
即時脱退処理 26-3
脱退処理、イネーブルにする 27-8
明示的ホスト トラッキング 26-5
レポート抑制
ディセーブルにする 27-11
IGMP グループ
最大番号を設定する 26-23
IGMP スヌーピング
Explicit Host Tracking 26-11
IP マルチキャスト 36-4
イネーブル化
VLAN 上 26-7
グローバル 26-6
即時脱退処理
イネーブルとディセーブル 27-6
概要 26-1
設定
学習方式 26-7
脱退タイマー 26-9
マルチキャスト ルータへの静的な接続 26-8
設定時の注意事項 26-5
デフォルト設定 27-5, 27-6
ホストの静的な設定 26-12
マルチキャスト フラッディングの抑制 26-12
モニタリング 26-15, 27-11
IGMP スヌーピング クエリア、設定 26-10
IGMP スヌーピング、表示
MAC アドレス エントリ 26-18
VLAN インターフェイス上 26-19
クエリア情報 26-19
グループ 26-17
方法 26-15
ホスト メンバーシップ 26-16
マルチキャスト ルータ インターフェイス 26-18
IGMP 即時脱退
設定時の注意事項 26-9
IGMP フィルタリング
設定する 26-21
説明 26-21
デフォルト設定 26-21
モニタリング 26-24
IGMP プロファイル
コンフィギュレーション モード 26-21
設定する 26-21
適用する 26-22
interface port-channel コマンド 25-7, 25-8
interface range macro コマンド 8-11
interface range コマンド 8-5
interface コマンド 3-10, 8-2
IOS シェル

「Auto Smartports マクロ」を参照
IP
スタティック ルートの設定 3-12
デフォルト ゲートウェイの設定 3-12
統計情報の表示 34-8
フロー スイッチング キャッシュ 61-10
ip cef コマンド 34-6, 69-2
IP Enhanced IGRP
インターフェイス、表示 33-20
ip flow-aggregation cache destination-prefix コマンド 61-12
ip flow-aggregation cache prefix コマンド 61-11
ip flow-aggregation cache source-prefix コマンド 61-12
ip flow-export コマンド 61-9
ip icmp rate-limit unreachable コマンド 9-12
ip igmp profile コマンド 26-21
ip igmp snooping tcn flood query count コマンド 26-14
ip igmp snooping tcn flood コマンド 26-13
ip igmp snooping tcn query solicit コマンド 26-15
ip load-sharing per-destination コマンド 34-7
ip local policy route-map コマンド 39-9
ip mask-reply コマンド 9-13
IP MTU サイズ、設定 33-9
ip multicast-routing コマンド 36-15
IP Phone
「Cisco IP Phone」を参照 42-1
音声ポートの設定 42-3
ip pim dense-mode コマンド 36-15
ip pim sparse-dense-mode コマンド 36-16, 36-17
ip pim コマンド 36-16
ip policy route-map コマンド 39-8
ip redirects コマンド 9-13
ip route-cache flow コマンド 61-8
IP SLA
CFM ping またはジッタの手動設定 64-19
CFM エンドポイント ディスカバリ 64-22
ICMP エコー動作 67-11
SNMP サポート 67-2
UDP ジッタ動作 67-8
応答側
イネーブルにする 67-7
説明 67-4
応答時間 67-4
サポートされるメトリック 67-2
しきい値のモニタリング 67-6
スケジューリング 67-5
制御プロトコル 67-4
設定時の注意事項 67-7
定義 67-1
デフォルト設定 67-6
動作 67-3
到達可能性トラッキング 58-10
トラック ステート 58-10
ネットワーク パフォーマンスを測定する 67-3
マルチオペレーションのスケジューリング 67-5
利点 67-2
IP traceroute
概要 9-9
実行する 9-9
ip unreachables コマンド 9-12
IPv4、IPv6、および MAC ACL、レイヤ 2 インターフェイスでの設定 52-32
IPv6
Enhanced Interior Gateway Routing Protocol（EIGRP）IPv6 53-6
ルータ ID 53-6
OSPF 53-6
アドレス 53-2
定義済み 1-20, 53-1
デフォルト設定 53-7
IPv6 制御トラフィック、ポリシングする 49-17
IPv6 の制御トラフィック ポリシング 49-17
IPv6 ファースト ホップ セキュリティ、概要 1-40
IPX
EIGRP によるルート情報の再配布 1-19
IP アドレス
128 ビット 53-2
IPv6 53-2

クラスタ コマンド スイッチ 15-11
クラスタの候補またはメンバ 15-12
検出する 4-38
IP アンナンバード サポート
DHCP オプション 82 17-2
DHCP サーバとリレー エージェントでの 17-2
LAN および VLAN インターフェイスに対する設定 17-4
イーサネット VLAN 範囲に対する設定 17-5
エージェント リモート ID サブオプションの形式 17-2
接続したホストのポーリングでの 17-3
接続したホストのポーリングでの設定 17-6
設定の表示 17-7
トラブルシューティング 17-8
IP サービス レベル契約
「IP SLA」を参照
IP サービス レベル、分析する 67-1
IP 情報
割り当て
DHCP ベースの自動設定を介して 3-3
IP ソース ガード
概要 51-25
設定 51-22
表示 51-23, 51-25
プライベート VLAN 上での設定 51-23
IP 統計情報
表示 34-8
IP ポート セキュリティ、スタティック ホスト用
PVLAN ホスト ポートでの 51-29
レイヤ 2 アクセス ポート 51-26
IP マルチキャスト
IGMP スヌーピング 26-5, 36-4
PIM 情報の表示 36-24
概要 36-1
サポートされない機能 36-13
スパース モードのイネーブル化 36-16
設定 36-13
ソフトウェア転送 36-9
テーブル エントリの削除 36-28
デフォルト設定 36-14
デンス モード PIM のイネーブル化 36-15
ハードウェア転送 36-9
ルーティング テーブル情報の表示 36-24
ルーティング プロトコル 36-2
「Auto-RP」「IGMP」「PIM」「RP」「RPF」も参照
IP マルチキャスト トラフィック、ロード分割 36-22
IP マルチキャスト ルーティング
イネーブル化 36-15
モニタリングおよびメンテナンス 36-23
IP ユニキャスト
統計情報の表示 34-8
IP ルーティング テーブル
エントリの削除 36-28
IS-IS、概要 1-19
ISL
802.1Q トンネリングによるトランキング 28-4
ISSU
Cisco Feature Navigator を使用した互換性の検証 5-56, 6-15, 7-14
NSF の概要 6-3, 7-3
SNMP サポート 6-15, 7-14
SSO の概要 6-3, 7-3
互換性マトリクス 5-55, 6-14, 7-13
サポートするソフトウェアのバージョン許容範囲 6-13
制約事項 5-50, 6-2, 7-2
前提条件 5-50, 6-2, 7-2
プロセスの概要 6-6, 7-6
プロセスの実行
ISSU ステートの確認 5-59, 6-20, 7-20
新しくスタンバイになったスーパーバイザ エンジンへの新しいソフトウェアのロード 5-65, 6-27, 7-27
互換性マトリクスの表示 5-75, 6-37, 6-41, 7-37
冗長モードの確認 5-58, 6-19, 7-19
スタンバイ スーパーバイザ エンジンへの新しいソフトウェアのロード 5-61, 6-21, 7-21

スタンバイ スーパーバイザ エンジンへの切り替え 5-62, 6-24, 7-24
セーフガードとしてのロールバック タイマーの設定 5-74, 6-35, 7-36
ソフトウェア アップグレードの中断 5-73, 6-35, 7-34
ソフトウェア インストレーションの確認 5-57, 6-18, 7-18
ロールバック タイマーの停止 5-64, 6-26, 7-26
IST
MST リージョン 21-23
説明 21-23
マスター 21-28
ITU-T Y.1731
「Y.1731」を参照
i コマンド 72-3

L

l2protocol-tunnel コマンド 28-17
LACP
システム ID 25-5
Link Aggregation Control Protocol、概要 1-7
Link Layer Discovery Protocol
「CDP」を参照
LLDP
概要 30-1
設定
デフォルト設定 30-5
設定する 30-4
特性 30-5
送信タイマーとホールドタイム、設定する 30-5
ディセーブル化およびイネーブル化
インターフェイス上 30-7
グローバル 30-6
モニタリングとメンテナンス 30-14
LLDP-MED
概要 30-1
サポートされる TLV 30-2
設定する
TLV 30-9, 30-11
手順 30-4
モニタリングとメンテナンス 30-14
LLDP Media Endpoint Discovery
「LLDP-MED」を参照
logoutwarning コマンド 9-6

M

MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス TLV 30-2
macl 52-14
MACSec
802.1AE タギング 44-8
MACsec 44-2
インターフェイスでの設定 44-7
スイッチ間セキュリティ 44-1
定義 44-1, 44-2
MACsec Key Agreement Protocol
「MKA」を参照
MAC アドレス
ACL での 52-14
DHCP スヌーピング バインディング テーブルでの表示 51-20
VLAN でのラーニングをディセーブルにする 4-33
VLAN との対応付け 4-22
エージング タイム 4-23
検出する 4-38
スタティック
許可する 4-32
削除する 4-30
追加する 4-30
特性 4-30
ドロップする 4-32
スティッキ 48-4
スティッキ セキュア、追加 48-5
ダイナミック
削除する 4-24
ラーニング 4-21

ダイナミックからスティッキ セキュアへの変換 **48-5**

テーブルの作成 **4-21, 18-3**

デフォルト設定 **4-23**

表示する **9-3**

割り当て **21-6**

MAC アドレス テーブル

表示 **4-38**

MAC アドレス テーブル移動更新

設定時の注意事項 **22-10**

設定する **22-11**

モニタリング **22-13**

MAC アドレス ラーニング、VLAN でディセーブルにする **4-33**

機能の互換性 **4-36**

機能の非互換性 **4-37**

使用上のガイドライン **4-33**

設定 **4-33**

配置シナリオ **4-34**

MAC 拡張アクセス リスト **52-14**

MAC 認証バイパス

802.1X の設定 **45-58**

MAC の詳細、表示 **45-125**

main-cpu コマンド **10-8, 11-8**

mask destination コマンド **61-11, 61-12**

mask source コマンド **61-11, 61-12**

match ip address コマンド **39-6**

MDA

設定時の注意事項 **45-23 ～ ??**

説明 **45-23**

MEC

概要 **5-14**

コンフィギュレーション **5-45**

障害 **5-15**

Media Access Control Security

「MACsec」を参照

meminfo コマンド **72-5**

Metro の機能

Y.1731（AIS および RDI）、概要 **1-13**

MFIB

CEF **36-6**

概要 **36-12**

MFIB、IP

表示 **36-26**

MIB

SNMP の相互作用 **60-4**

概要 **60-1**

関連情報 **71-3**

コンパイル **71-4**

ダウンロード **71-3, 71-4**

MKA

仮想ポート **44-3**

定義 **44-2**

統計情報 **44-5**

ポリシー **44-3**

ポリシーの設定 **44-6**

リプレイ プロテクション **44-3**

MLD Done メッセージおよび即時脱退 **27-4**

MLD クエリー **27-3**

MLD スヌーピング

MLD Done メッセージおよび即時脱退 **27-4**

MLD クエリー **27-3**

MLD メッセージ **27-2**

MLD レポート **27-4**

概要 **27-1**

マルチキャスト クライアント エージングの堅牢性 **27-3**

マルチキャスト ルータ検出 **27-3**

MLD メッセージ **27-2**

MLD レポート **27-4**

MST

BPDU **21-24**

PVST+ とのインターオペラビリティ **21-24**

SST とのインターオペラビリティ **21-25**

イネーブル化 **21-31**

インスタンス

サポートされる数 **21-27**

説明 **21-23**

パラメータの設定 **21-33**
エッジ ポート **21-28**
境界ポート **21-28**
コンフィギュレーション パラメータ **21-27**
制約事項 **21-30**
設定 **21-30**
設定の表示 **21-34**
複数のスパニングツリー **1-9, 21-23**
ホップ カウント **21-29**
マスター **21-28**
メッセージ エージ **21-29**
リージョン **21-27**
リンク タイプ **21-29**
MSTP
EtherChannel ガード
イネーブルにする **24-6**
M ツリー **21-24**
M レコード **21-24**
MTUS
概要 **8-27**
MTU サイズ
設定 **8-28, 8-30, 8-39, 8-40**
デフォルト **16-5**
Multiple VPN Routing/Forwarding
「Multi-VRF CE」を参照
Multi-VRF CE
コンポーネント **40-3**
設定例 **40-13**
定義 **40-1**
デフォルト設定 **40-3**
ネットワーク コンポーネント **40-3**
パケット転送処理 **40-3**
M ツリー **21-24**
M レコード **21-24**

N

NAC レイヤ 2 802.1X 認証、概要 **1-41**
NAC レイヤ 2 IP 検証、概要 **1-41**
NDAC **44-9**
MACsec **44-1**
定義済み **44-9**
NEAT
概要 **45-24**
設定する **45-85**
NetFlow
destination-prefix 集約
最小マスク、設定 **61-11**
設定（例） **61-16**
IP
フロー スイッチング キャッシュ **61-10**
prefix 集約
最小マスク、設定 **61-11**
設定（例） **61-14**
source-prefix 集約
最小マスク、設定 **61-11**
集約
最小マスク、デフォルト値 **61-11**
スイッチング
キャッシュ エントリのエクスポート **61-9**
収集のイネーブル化 **61-7**
スイッチド IP フローの設定 **61-8**
設定（例） **61-13**
統計情報 **61-10**
必要なハードウェアの確認 **61-6**
NetFlow-lite
clear コマンド **62-10**
display コマンド **62-8**
NetFlow 統計情報
キャッシュ エントリのエクスポート **61-9**
収集機能の概要 **61-1**
収集機能の設定 **61-6**
収集のイネーブル化 **61-7**
スイッチド / ブリッジド IP フロー **61-8**
スーパーバイザの注意事項 **61-6**
必要なハードウェアの確認 **61-6**
NetFlow パケットのサンプリング
概要 **62-2**

Network Assistant
CLI コマンドの概要 15-3
VTY 15-12
設定する
スイッチとの通信を可能にする 15-13, 15-18
デフォルト設定 15-3
Next Hop Resolution Protocol
「NHRP」を参照
NHRP
サポート 1-19
NSF
注意事項および制約事項 12-9
定義 12-1
動作 12-4
NSF/SSO スーパーバイザ エンジンの冗長構成
CEF 12-5
SSO の動作 12-4
概要 12-3
NSF 対応
サポート 12-2
スーパーバイザ エンジン 12-3
NSF 認識
サポート 12-2
スーパーバイザ エンジン 12-3
NTP
アクセスを制限する
アクセス グループを作成する 4-9
インターフェイスごとに NTP サービスをディセーブルにする 4-10
アソシエーション
サーバ 4-6
定義済み 4-2
認証する 4-4
ピア 4-6
ブロードキャスト メッセージをイネーブルにする 4-7
階層 4-2
概要 4-2
時刻
サービス 4-2
同期をとる 4-2
設定を表示する 4-11
送信元 IP アドレス、設定する 4-10
デバイスの同期をとる 4-6
デフォルト設定 4-4
NVRAM
設定の保存 3-11

O

OAM
機能 64-35
クライアント 64-34
サブレイヤ 64-34
OAM PDU 64-36
OAM プロトコル データ ユニット 64-34
OAM マネージャ
CFM とイーサネット OAM 64-52
設定 64-53
OIR
概要 8-33
Open Shortest Path First
「OSPF」を参照
OSPF
IPv6 用 53-6
エリア概念 1-20
説明 1-19
OSPF、概要 1-19

P

PACL
アクセス グループ モードとの併用 52-33
PACL、VLAN マップおよびルータ ACL 52-35
PACL 設定時の注意事項 52-30
PAgP
概要 25-4
PBR（ポリシーベース ルーティング）

イネーブル化 39-6
概要 39-1
機能 39-2
使用する場合 39-6
設定（例） 39-9
ルート マップ 39-2
ルート マップ処理ロジック 39-3
ルート マップ処理ロジック例 39-4
PE/CE ルーティング、設定 40-13
Per-VLAN ラピッド スパニングツリー 21-7
イネーブル化 21-21
概要 21-7
PIM
概要 36-3
情報の表示 36-24
スパース / デンス モードのイネーブル化 36-16
スパース モードの設定 36-15
デンス モードの設定 36-15
統計情報の表示 36-28
PIM-DM 36-3
PIM-SM 36-4
PIM-SSM マッピング、イネーブル化 36-17
PIM、インターフェイス上の、イネーブル化 36-15
ping
概要 9-7
実行する 9-8
ping コマンド 9-8, 36-24
PoE 14-8
E シリーズでの Enhanced PoE サポート 14-16
インターフェイスの動作ステータスの表示 14-7
受電装置の電力消費量
インテリジェントな電源管理 14-5
単一デバイスの電力消費量の設定 14-6, 14-17
電力管理モード 14-3
電力消費の設定、受電装置 14-5
ポリシングおよびモニタリング 14-12
モジュールの電源切断 13-20
PoE の表示検出および削除イベント 14-8
PoE ポリシング
errdisable 回復の設定 14-15
インターフェイス上での設定 14-13
インターフェイス上での表示 14-14
電源モード 14-13
policy-map コマンド 41-18, 41-53
port-channel load-balance
コマンド 25-14
コマンド例 25-14
port-channel load-balance コマンド 25-15
PortFast
BPDU フィルタ、設定 24-10
MST 21-24
概要 24-7
設定またはイネーブル化 24-17
PortFast BPDU フィルタリング
MST 21-24
イネーブル化 24-10
概要 24-9
power dc input コマンド 13-19
power inline consumption コマンド 14-6
power inline コマンド 14-4
power redundancy-mode コマンド 13-12
PVACL 51-21
PVID（ポート VLAN ID）
音声 VLAN ポートを使用した 802.1X 45-22
PVLAN
802.1Q サポート 43-14
VLAN の設定 43-15
概要 43-1
設定 43-11
インターフェイス モード 43-24
設定時の注意事項 43-13
複数のスイッチ 43-5
ポート セキュリティの設定 48-14, 48-16, 48-18
ホスト ポート
設定 43-24
レイヤ 2 インターフェイスの設定 43-18
無差別ポートの設定 43-17
無差別モード

設定 **43-24**
ルーティングの許可、例 **43-23**
ワイヤレス環境でのポート セキュリティの設定 **48-33**
PVLAN 無差別トランク ポート
設定 **43-11, 43-17, 43-21**
PVQoS
イネーブル化 **41-37, 41-73**
概要 **41-10**

Q

QoS
PVQoS の概要 **41-10**
PV のイネーブル化 **41-37, 41-73**
概要 **41-2**
定義 **41-3**
トラフィック シェーピング **41-10**
パケットの変更 **41-10**
分類 **41-6 ～ ??**
「COS」「DSCP 値」「キューの送信」も参照 **1-9**
QoS、Supervisor Engine 6-E での
DBL 経由のアクティブ キュー管理 **41-28, 41-35, 41-64, 41-71**
MQC ベースの QoS 設定 **41-14, 41-50**
アクション ドライバのマーク付け **41-22, 41-58**
キュー制限 **41-33, 41-69**
共有（帯域幅） **41-28, 41-64**
共有（帯域幅）、シェーピング、およびプライオリティ キュー **41-26, 41-62**
サービス ポリシーの適用に関する制約事項 **41-16, 41-52**
サービス ポリシーを適用するための前提条件 **41-16, 41-52**
シェーピング **41-26, 41-62**
設定 **41-14, 41-49**
ソフトウェア QoS **41-42, 41-78**
トラフィック マーキング手順のフローチャート **41-23, 41-58**
ネットワーク トラフィックのマーク付け **41-20, 41-55**
プライオリティ キューイング **41-31, 41-67**
プラットフォームでサポートされる分類基準および QoS 機能 **41-14, 41-15, 41-50**
プラットフォームの制約事項 **41-19, 41-54**
プラットフォーム ハードウェアの機能 **41-16, 41-51**
分類 **41-17, 41-52**
ポリシーの関連付け **41-40, 41-76**
ポリシー マップ マーキング アクションの設定 **41-24, 41-60**
ポリシング **41-18, 41-53**
ポリシングの実装方法 **41-19, 41-54**
マーキング用のハードウェア機能 **41-24, 41-60**
マルチ属性マーキングのサポート **41-23, 41-59**
QoS アクティブ キュー管理
キュー長の追跡 **41-9**
QoS サービス ポリシー
前提条件 **41-16, 41-52**
適用に関する制約事項 **41-16, 41-52**
QoS の送信キュー
最大速度 **41-10**
バースト **41-10**
リンク帯域幅の共有 **41-9**
QoS ポリシー
インターフェイスへの対応付け **41-9**
QoS ポリシング
説明 **41-8**
定義 **41-5**
QoS マーキング
説明 **41-5**
QoS ラベル
定義 **41-4**
Quality of Service
「QoS」を参照

R

RADIUS
AAA サーバ グループを定義する **45-105**
概要 **45-93**

許可の変更 45-94
サーバ ロード バランシング 45-113
サーバを指定する 45-100
設定する
アカウンティング 45-108
通信、グローバル 45-101, 45-109
通信、サーバ単位 45-100, 45-101
認可 45-107
認証 45-103
複数 UDP ポート 45-101
設定を表示する 45-113
操作 45-94
属性
ベンダー固有 45-109
ベンダー専用 45-111
デフォルト設定 45-100
ネットワーク環境の提案 45-93
方式リスト、定義済み 45-100
ユーザに対するサービスを制限する 45-107
ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする 45-108
RADIUS 許可の変更 45-94
RADIUS サーバ
スイッチ上のパラメータ 45-32
スイッチとの通信設定 45-32
設定 45-34
RADIUS、スイッチ アクセスの制御 45-92
RADIUS によるスイッチ アクセス、制御 45-92
RADIUS によるスイッチ アクセスの制御 45-92
range コマンド 8-5
RA ガード
概要 52-37
使用上のガイドライン 52-40
設定 52-39
配置 52-38
例 52-39
rcommand コマンド 15-13
reload コマンド 3-30
Remote Authentication Dial-In User Service
「RADIUS」を参照
REP
SNMP トラップ、設定 23-14
VLAN ブロッキング 23-13
VLAN ロード バランシング 23-4
VLAN ロード バランシングのトリガー 23-6
インターフェイスの設定 23-10
オープン セグメント 23-2
および STP 23-6
管理 VLAN 23-9
管理 VLAN、設定 23-9
コンバージェンス 23-4
サポートされるインターフェイス 23-1
手動によるプリエンプション、設定 23-13
セカンダリ エッジ ポート 23-4
セグメント 23-1
特性 23-2
設定時の注意事項 23-7
デフォルト設定 23-7
ネイバー オフセット番号 23-5
プライマリ エッジ ポート 23-4
プリエンプション遅延時間 23-5
ポート 23-6
モニタリング 23-14
リンク完全性の確認 23-4
リング セグメント 23-2
reset コマンド 72-3
Resilient Ethernet Protocol、「REP」を参照
RFC
1157、SNMPv1 60-2
1305、NTP 4-2
1757、RMON 68-2
1901、SNMPv2C 60-2
1902 ～ 1907、SNMPv2 60-2
2273-2275、SNMPv3 60-2
RFC 5176 規定 45-95
RIP
IPv6 用 53-6
説明 1-20

RIP、概要 1-20
RMON
アラームとイベントをイネーブルにする 68-3
概要 68-1
サポートされるグループ 68-2
ステータスを表示する 68-6
デフォルト設定 68-3
ROM モニタ
CLI 2-8
開始 72-1
概要 72-1
コマンド 72-2 ～ 72-3
終了 72-6
デバッグ コマンド 72-5
ブート プロセスおよび 3-27
route-map (IP) コマンド 39-6
Routing Information Protocol
「RIP」を参照
RPF
「ユニキャスト RPF」を参照
RSPAN
IDS 56-3
VLAN ベース 56-6
宛先ポート 56-6
受信トラフィック 56-4
セッション
VLAN のモニタ 56-25
作成する 56-19
送信元（モニタ対象）ポートの削除 56-23
定義済み 56-4
特定の VLAN に対する送信元トラフィックを制限する 56-26
モニタリングされるポートを指定する 56-19
設定時の注意事項 56-19
送信トラフィック 56-5
送信元ポート 56-5
モニタリングされるポート 56-5
モニタリング ポート 56-6
RSTP
互換性 21-24
説明 21-23
ポート ステート 21-25
ポートの役割 21-24

S

S/M,224/4 36-13
SAID
「802.10 SAID」を参照
SAP
サポート 44-1
定義済み 44-9
ネゴシエーション 44-9
Security Association Identifier
「802.10 SAID」を参照
Security Exchange Protocol
「SAP」を参照
service-policy input コマンド 32-2
set default interface コマンド 39-7, 39-8
set interface コマンド 39-7
set ip default next-hop コマンド 39-7
set ip next-hop コマンド 39-7
set-request オペレーション 60-4
show adjacency コマンド 34-9
show boot コマンド 3-33
show catalyst4000 chassis-mac-address コマンド 21-3
show cdp entry コマンド 29-4
show cdp interface コマンド 29-3
show cdp neighbors コマンド 29-4
show cdp traffic コマンド 29-4
show cdp コマンド 29-2, 29-4
show ciscoview package コマンド 4-42
show ciscoview version コマンド 4-42
show cluster members コマンド 15-13
show configuration コマンド 8-23
show debugging コマンド 29-4
show environment コマンド 13-2
show history コマンド 2-4

show interfaces status コマンド 9-2
show interfaces コマンド 8-28, 8-30, 8-37, 8-39, 8-40
show ip cache flow aggregation destination-prefix コマンド 61-12
show ip cache flow aggregation prefix コマンド 61-12
show ip cache flow aggregation source-prefix コマンド 61-12
show ip cache flow コマンド 61-10
show ip cef コマンド 34-8
show ip eigrp interfaces コマンド 33-20
show ip eigrp neighbors コマンド 33-20
show ip eigrp topology コマンド 33-20
show ip eigrp traffic コマンド 33-20
show ip interface コマンド 36-24
show ip local policy コマンド 39-9
show ip mroute コマンド 36-24
show ip pim interface コマンド 36-24
show l2protocol コマンド 28-18
show lldp traffic コマンド 30-15
show mac-address-table address コマンド 9-3
show mac-address-table interface コマンド 9-3
show mls entry コマンド 34-8
show module コマンド 9-1, 21-6
show power inline コマンド 14-7
show power supplies コマンド 13-12
show protocols コマンド 8-37
show running-config コマンド
　ACL を表示する 52-20, 52-23, 52-32, 52-33
　インターフェイスの記述の追加 8-23
　設定の確認 3-10
show startup-config コマンド 3-11
show users コマンド 9-6
show version コマンド 3-30
shutdown、コマンド 8-38
Slow timer、BFD の設定 38-16
Smart Call Home
　宛先プロファイル（説明） 66-5
　説明 66-2
smart call home 66-1
　Transport Gateway（TG）集約ポイント 66-2
　サービス契約の要件 66-3
　登録要件 66-3
SMARTnet
　smart call home の登録 66-3
Smartports マクロ
　「Auto Smartports マクロ」も参照
SmartPort マクロ
　グローバル パラメータ値の適用 19-8, 19-15
　作成 19-8
　設定時の注意事項 19-6, 19-14
　定義 1-10, 19-1
　デフォルト設定 19-4, 19-13
　トレース 19-7, 19-14
　パラメータ値の適用 19-9
　表示 19-13
　マクロの適用 19-8
Smartport マクロ
　設定 19-2
SNMP
　IP SLA と 67-2
　MIB 変数にアクセスする 60-4
　TFTP サーバによるアクセスを制限する 60-15
　イネーブル化 71-4, 71-5
　エージェント
　　説明 60-4
　　ディセーブルにする 60-7
　エンジン ID 60-6
　概要 60-1, 60-4
　グループ 60-6, 60-9
　コミュニティ ストリング
　　概要 60-4
　　設定する 60-7
　サポートされるバージョン 60-2
　システム接点と場所 60-15
　システム ログ メッセージを NMS に対して制限する 59-10
　情報
　　イネーブルにする 60-14

説明 60-5
トラップ キーワードと 60-11
トラップとの違い 60-5
ステータス、表示する 60-17
設定時の注意事項 60-6
設定例 60-16
通知 60-5
デフォルト設定 60-6
トラップ
MAC アドレス通知をイネーブルにする 4-24
MAC 移動通知のイネーブル化 4-27
MAC しきい値通知のイネーブル化 4-28
イネーブルにする 60-11
概要 60-1, 60-4
情報との違い 60-5
説明 60-3, 60-5
タイプ 60-11
トラップ マネージャ、設定する 60-13
認証レベル 60-10
ホスト 60-6
マネージャ機能 60-3
ユーザ 60-6, 60-9
SNMPv1 60-2
SNMPv2C 60-2
SNMPv3 60-2
SNMP コマンド 71-4
SNMP トラップ
REP 23-14
SPAN
ACL 56-6
IDS 56-3
VLAN ベース 56-6
宛先ポート 56-6
受信トラフィック 56-4
セッション
定義済み 56-4
設定 56-8 ～ 56-12
設定時の注意事項 56-8
送信トラフィック 56-5
送信元ポート 56-5
モニタ対象ポート、定義 56-5
モニタリング ポート、定義 56-6
spanning-tree backbonefast コマンド 24-17
spanning-tree cost コマンド 21-16
spanning-tree guard root コマンド 24-2
spanning-tree portfast bpdu-guard コマンド 24-9
spanning-tree portfast コマンド 24-8
spanning-tree port-priority コマンド 21-14
spanning-tree uplinkfast コマンド 24-13
spanning-tree vlan
コマンド 21-9
コマンド例 21-10
spanning-tree vlan cost コマンド 21-16
spanning-tree vlan forward-time コマンド 21-20
spanning-tree vlan hello-time コマンド 21-18
spanning-tree vlan max-age コマンド 21-19
spanning-tree vlan port-priority コマンド 21-14
spanning-tree vlan priority コマンド 21-18
spanning-tree vlan root primary コマンド 21-11
spanning-tree vlan root secondary コマンド 21-13
spanning-tree vlan コマンド 21-8
SPAN および RSPAN
概念と用語 56-4
概要 56-1
ステータスの表示 56-27
セッション限度 56-7
デフォルト設定 56-7
SPAN 拡張機能
CPU ポートのスニッフィング 56-12
アクセス リスト フィルタリング 56-15
カプセル化の設定 56-14
設定例 56-18
入力パケット 56-14
パケット タイプ フィルタリング 56-17
speed コマンド 8-21
SSO
設定 12-10
SSO の動作 12-4

SST
インターオペラビリティ 21-25
説明 21-23
STP
EtherChannel ガード
ディセーブルにする 24-7
hello タイム 21-18
Per-VLAN ラピッド スパニングツリー 21-7
Per-VLAN ラピッド スパニングツリーのイネーブル化 21-21
イネーブル化 21-8
および REP 23-6
概要 21-1, 21-4
拡張システム ID のイネーブル化 21-9
最大エージング タイム 21-19
設定 21-8 ～ 21-21
ディセーブルにする 21-20
デフォルト 21-7
転送遅延時間 21-19
トポロジの作成 21-5
ブリッジ ID 21-2
ポート コスト 21-16
ポート プライオリティ 21-13
ルート ブリッジ 21-10
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 28-14
Sup 6-E での QoS
CoS 変換の設定 41-47, 41-83
Supervisor Engine II-TS
不十分なインライン パワーの処理 13-20, 14-12
Supervisor Engine II-TS でインライン パワーが不足した場合の処理 13-20
SVI 自動ステート除外
概要 33-3
設定 33-7
S-VLAN 1-2, 28-7
switchport access vlan コマンド 18-6, 18-8
switchport block multicast コマンド 54-2
switchport block unicast コマンド 54-2
switchport mode access コマンド 18-8
switchport mode dot1q-tunnel コマンド 28-6
switchport mode dynamic コマンド 18-6
switchport mode trunk コマンド 18-6
switchport trunk allowed vlan コマンド 18-6
switchport trunk encapsulation コマンド 18-6
switchport trunk native vlan コマンド 18-6
switchport trunk pruning vlan コマンド 18-6
sysret コマンド 72-5

T

TACACS+ 49-1
アカウンティング、定義済み 3-17
概要 3-16
サーバを指定する 3-19
設定する
アカウンティング 3-22
認可 3-22
認証キー 3-19
ログイン認証 3-20
設定を表示する 3-23
操作 3-18
デフォルト設定 3-19
認可、定義済み 3-17
認証、定義済み 3-17
ユーザに対するサービスを制限する 3-22
ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする 3-22
TCAM プログラミングおよび ACL 52-7
Supervisor Engine II-Plus から V-10GE 52-7
TCAM プログラミングと ACL、Supervisor Engine 6-E の 52-10
TDR
ケーブル接続の確認 9-3
注意事項 9-3
テストの開始および中止 9-3
Telnet
CLI へのアクセス 2-2
実行 9-5

ユーザ セッションの切断 9-7
ユーザ セッションのモニタリング 9-6
telnet コマンド 9-6
Terminal Access Controller Access Control System Plus
「TACACS+」を参照
TFTP
サーバによるアクセスを制限する 60-15
自動設定を設定する 3-5
ベース ディレクトリの設定ファイル 3-5
TFTP ダウンロード
「コンソール ダウンロード」も参照
Time Domain Reflectometer（TDR）
「TDR」を参照
Time-Exceeded メッセージ 9-9
TLV
LLDP-MED 30-2
定義済み 1-8, 30-2
ホスト表示の検出 45-8
ToS
説明 41-4
traceroute
「IP traceroute」を参照
「レイヤ 2 traceroute」を参照
traceroute mac ip コマンド 9-11
traceroute mac コマンド 9-11
trace コマンド 9-9
TwinGig コンバータ
X2/TwinGig コンバータ モードの選択 8-15
使用時の制限事項 8-15
ポート番号設定 8-14
Type-Length-Value
「TLV」を参照

U

UDLD
インターフェイスごとのイネーブル化 31-6
インターフェイス単位のプローブ メッセージ インターバルの設定 31-8
グローバルにイネーブル 31-5
使用例 31-2
ディセーブルになった LAN インターフェイスのリセット 31-8
デフォルト設定 31-3
動作モード 31-3
光ファイバ以外のインターフェイス上でディセーブル 31-7
光ファイバ インターフェイスでのディセーブル化 31-7
リンク ステータスの表示 31-8
UDLD、概要 31-1
UDP ジッタ、設定する 67-9
UDP ジッタ動作、IP SLA 67-8
UNIX Syslog サーバ
サポートされる機能 59-13
デーモンの設定 59-11
メッセージ ロギング設定 59-12
UplinkFast
MST 21-24
イネーブルにする 24-17
概要 24-12

V

VACL
レイヤ 4 ポート演算 52-10
Virtual Switch System（VSS）、EtherChannel の表示 25-16
VLAN
ID（デフォルト） 16-5
「PVLAN」も参照
RSPAN での送信元トラフィックを制限する 56-26
RSPAN によるモニタ 56-25
インターフェイスの割り当て 16-8
概要 16-2
拡張範囲 16-4
サービス プロバイダー ネットワーク内のカスタマー番号 28-3
設定 16-5

設定時の注意事項 16-3
説明 1-12
デフォルト設定 16-5
トランクで許可される 18-6
名前（デフォルト） 16-5
標準範囲 16-4
予約範囲 16-4
レイヤ 3 インターフェイスとしての VLAN の設定 33-7
VLAN ACL
「VLAN マップ」を参照
vlan dot1q tag native コマンド 28-4
VLAN ID
サービスプロバイダー 28-9
VLAN ID、検出する 4-38
VLAN ID 変換
「VLAN マッピング」を参照
VLAN Trunking Protocol
「VTP」を参照
vlan コマンド 16-7
VLAN トランク
概要 18-3
VLAN ブロッキング、REP 23-13
VLAN マッピング
1 対 1 28-8
1 対 1、設定 28-11
従来の QinQ 28-8
従来の Q-in-Q、設定 28-12
設定 28-11
設定時の注意事項 28-10
説明 1-2, 28-7
選択的 QinQ 28-8
選択的 Q-in-Q、設定 28-12
タイプ 28-8
デフォルト 28-9
トランク ポート上での設定 28-11
VLAN マップ
VLAN への適用 52-23
アクセス拒否の例 52-25
エントリの作成および削除 52-20
エントリの順序 52-19
使用（図） 52-5
設定時の注意事項 52-19
設定する 52-18
設定例 52-24
定義済み 1-42
ネットワークでの使用 52-23
パケットの許可 52-20
パケットの拒否 52-20
表示 52-26
ルータ ACL 52-27
VLAN マップ、PACL およびルータ ACL 52-35
VLAN マネジメント ポリシー サーバ
「VMPS」を参照
VLAN ユーザ分散、802.1X の設定 45-66
VLAN ロード バランシング
REP 23-4
VLAN ロード バランシング、Flex Link の 22-3
設定時の注意事項 22-6
VLAN ロード バランシング、トリガー 23-6
VMPS
クライアントでのダイナミック アクセス ポートの設定 16-27
コンフィギュレーション ファイルの例 16-34
サーバの概要 16-22
再試行間隔の設定 16-29
ダイナミック ポート メンバーシップ
再確認する 16-28
例 16-31
データベース コンフィギュレーション ファイル 16-34
メンバーシップの再確認 16-28
割り当ての再確認 16-28
VMPS クライアント
管理およびモニタリング 16-29
スイッチの設定
IP VMPS アドレスの入力 16-26
VLAM メンバーシップの再確認 16-28

再確認間隔 16-29
再確認間隔の設定 16-28
ダイナミック ポート 16-27
ダイナミック VLAN メンバーシップの概要 16-25
ダイナミック ポート VLAN メンバーシップのトラブルシューティング 16-30
デフォルト設定 16-25
VMPS サーバ
概要 16-22
セキュリティ モード
multiple 16-24
open 16-23
secure 16-24
代替 VLAN 16-24
不正な VMPS クライアント要求 16-24
Voice over IP
設定 42-1
VPN
サービス プロバイダー ネットワーク内 40-1
フォワーディング 40-3
ルーティングおよび転送テーブル
「VRF」を参照
ルーティングの設定 40-12
ルート 40-2
VRF
定義 40-3
テーブル 40-1
VRF-Lite
説明 1-24
VRF 認識サービス
ARP 40-6, 40-9
ftp 40-8
ping 40-6
SNMP 40-7
syslog 40-8
tftp 40-8
traceroute 40-8
uRPF 40-7
設定 40-6
VSS
デュアル アクティブ検出
拡張 PAgP、説明 5-24, 5-45
拡張 PAgP、利点 5-23
VTP
「VTP バージョン 2」も参照
概要 16-8
クライアント、設定 16-18
サーバ、設定 16-18
設定時の注意事項 16-13
ディセーブル化 16-18
デフォルト設定 16-14
統計情報 16-21
トランスペアレント モード、設定 16-18
バージョン 2
イネーブル化 16-17
プルーニング
設定 16-17
モニタリング 16-21
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 28-14
VTP アドバタイズメント
説明 16-10
VTP ドメイン
説明 16-9
VTP バージョン 2 および 3
「VTP」も参照
概要 16-10
VTP プルーニング
概要 16-12
VTP モード 16-9
VTY および Network Assistant 15-12
VVID（音声 VLAN ID）
802.1X 認証 45-22
設定 42-3

W

WCCP
機能 70-4

サービス グループ　70-6

制約事項　70-5

設定例　70-10

ルータでの設定　70-2, 70-12

Web キャッシュ

「キャッシュ エンジン」を参照

Web キャッシュ サービス

説明　70-4

Web キャッシュ通信プロトコル

「WCCP」を参照　70-1

Web キャッシング

「Web キャッシュ サービス」を参照

「WCCP」も参照　70-4

Web スケーリング　70-1

Web ベース認証

説明　1-44, 45-14, 47-1

認証プロキシ Web ページ　47-4

Web ベース認証、他の機能との相互作用　47-4

Wireshark

アクティブ化および非アクティブ化、キャプチャ ポイント、概念　57-6

機能の相互利用　57-6

キャプチャされたパケットの .pcap フィルタへの保存　57-5

キャプチャ フィルタ　57-4

キャプチャ ポイント　57-2

コア システム フィルタ　57-3

使用例　57-20

接続ポイント　57-3

パケットのデコードおよび表示　57-5

表示フィルタ　57-4

フィルタ　57-3

Wireshark、概要　57-2

Wireshark、キャプチャ ポイントのアクティブ化と非アクティブ化　57-11

Wireshark キャプチャ ポイントのアクティブ化と非アクティブ化、概念、Wireshark　57-6

Wireshark、キャプチャ ポイントの定義 / 変更 / 削除　57-8

Wireshark 情報の表示　57-16

Wireshark、情報の表示　57-16

Wireshark について　57-2

Y

Y.1731

ETH-AIS

イーサネット アラーム信号機能（ETH-AIS）　64-28

ETH-RDI　64-29

説明　64-27

デフォルト設定　64-30

マルチキャスト ETH-LB　64-29

マルチキャスト イーサネット ループバック　64-32

用語　64-27

あ

アーカイブ保存、クラッシュファイル情報の　2-8

アカウンティング

RADIUS での　45-108

TACACS+ での　3-17, 3-22

アクション ドライバ、マーク付け　41-22, 41-58

アクセス VLAN　18-6

アクセス グループ モード、PACL との併用　52-33

アクセス グループ モード、レイヤ 2 インターフェイス上での設定　52-33

アクセス コントロール エントリ

「ACE」を参照

アクセス コントロール エントリおよびリスト　49-1

アクセス ポート

設定　18-8

ポート セキュリティの設定　48-7, 48-22

レイヤ 2 プロトコル トンネリング　28-15

アクセス リスト

WCCP での使用　70-9

アクセス リスト フィルタリング、SPAN 機能拡張　56-15

アクティブ キュー管理　41-9

アクティブ キュー管理、DBL 経由の、Supervisor Engine 6-E での QoS **41-35, 41-71**
アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA **67-1**
アップリンク フォワーディング
　クアッドスーパーバイザ **5-6**
アドバタイズメント
　LLDP **1-8, 30-2**
アドバタイズメント、VTP
　「VTP アドバタイズメント」を参照
アドレス
　IPv6 **53-2**
　「MAC アドレス」を参照
　MAC、検出する **4-38**
　MAC テーブルの表示 **4-38**
　スタティック
　　追加と削除 **4-30**
　　定義済み **4-21**
　ダイナミック
　　エージング タイムを変更する **4-23**
　　削除する **4-24**
　　定義済み **4-21**
　　ラーニング **4-21**
アドレス解決 **4-38**
暗号キー、MKA **44-2**
暗号キー生成 **44-2**

い

イーサネット OAM **64-35**
　CFM 相互動作 **64-52**
　CFM との設定 **64-52**
　イネーブル化 **64-36, 64-53**
　設定時の注意事項 **64-36**
　ディスカバリ **64-35**
　デフォルト設定 **64-36**
　テンプレート **64-46**
　プロトコル
　　定義 **64-34**
　　モニタリング **64-50**
　　メッセージ **64-35**
　　リモート障害表示 **64-35**
　　リモート ループバック **64-35, 64-38**
　　リンク モニタ **64-35, 64-40**
イーサネット OAM プロトコル CFM 通知 **64-52**
イーサネット管理ポート
　サポート機能 **8-10**
　指定する **8-11**
　設定する **8-11**
　説明 **1-31, 8-6**
　デフォルト設定 **8-7**
　ネットワーク管理に対する **1-31, 8-6**
　非サポート機能 **8-11**
　ルーティングと **8-7**
　ルーティング プロトコル **8-7**
イーサネット管理ポート、使用 **8-6**
イーサネット管理ポート、内部
　ルーティング プロトコル **8-7**
イーサネット リモート障害表示（ETH-RDI） **64-29**
イネーブル化、SNMP の **71-4, 71-5**
イネーブル モード **2-5**
イベント トリガー、ユーザ定義
　設定、802.1X ベース **20-9**
　設定、MAC アドレス ベース **20-9**
インターネット グループ管理プロトコル
　「IGMP」を参照
インターネット制御メッセージ プロトコル
　「ICMP」を参照
インターネット プロトコル バージョン 6
　「IPv6」を参照
インターフェイス
　イーサネット管理ポートの使用 **8-6**
　概要 **8-2**
　カウンタのクリア **8-37**
　記述名の追加 **8-23**
　再起動 **8-38**
　情報を表示する **8-36**
　設定 **8-2**
　動作ステータスの表示 **14-7**

範囲設定 8-4
番号 8-2
命名 8-23
メンテナンス 8-36
モニタリング 8-36
「レイヤ 2 インターフェイス」も参照
レイヤ 2 モード 18-3
インターフェイス コンフィギュレーション
REP 23-10
インターフェイスの範囲
設定 8-4
インターフェイス リンクおよびトランク ステータス イベント
設定 8-38
インテリジェントな電源管理 14-5
インライン パワー
Cisco IP Phone での設定 42-5

え

エージング タイム
MAC アドレス テーブル 4-23
エコー モード、BFD の設定 38-15
エッジ ポート
説明 21-28

お

応答側、IP SLA
イネーブルにする 67-7
説明 67-4
応答時間、IP SLA で測定する 67-4
オブジェクト トラッキング
モニタリング 58-13
オブジェクトのトラッキング 58-2
オプション 82
DHCP スヌーピングのイネーブル化 51-11
オペレーティング システム イメージ
「システム イメージ」を参照
音声 VLAN
IP 電話音声トラフィック、説明 42-2
IP 電話データ トラフィック、説明 42-2
音声 VLAN、802.1X の設定 45-71
音声 VLAN ポート
802.1X の利用 45-22
音声インターフェイス
設定 42-1
音声トラフィック 14-2, 42-5
音声ポート
VVID の設定 42-3
オンデマンド オンライン診断 69-2
オンライン診断 69-1
オンデマンドの設定 69-2
スケジューリング 69-2
データ パス、テスト結果の表示 69-7
テストの開始と停止 69-3
テストの表示およびテスト結果 69-4
トラブルシューティング 69-8
ラインカード 69-8

か

階層、NTP 4-2
概要
802.1X ID ベースのネットワーク セキュリティ、サポートされる機能のリスト 1-36
ACL（IP ACL、MAC ACL、ポート ACL、ルータ ACL、および VLAN ACL）のネットワーク セキュリティ 1-42
Cisco Call Home 1-25
Cisco IOS IP Service Level Agreement 1-26
Cisco IOS Mediatrace と Performance Monitor 1-28
Cisco Medianet AutoQoS 1-27
Cisco Medianet フロー メタデータ 1-27
Cisco TrustSec MACsec の暗号化 1-38
Cisco TrustSec セキュリティ アーキテクチャ 1-37
Cisco メディア サービス プロキシ 1-26
Dynamic Host Control Protocol 1-29
Easy Virtual Network 1-30

EIGRP スタブ ルーティング 1-15
Embedded Event Manager 1-31
EtherChannel バンドル 1-3
FAT ファイル管理システム（Sup 60-E、6L-E、4948E、および 4900M） 1-31
Flexible NetFlow（Sup 7-E および 7L-E） 1-4
Flex Link および MAC アドレス テーブル移動更新 1-4
GLBP 1-16
HSRP 1-17
Intelligent Power Management 1-32
IPv6 1-20
IPv6 Multicast Listen Discovery（MLD）と Multicast Listen Discovery スヌーピング 1-6
IPv6 ファースト ホップ セキュリティ 1-40
IPv6 マルチキャスト BSR および BSR スコープ ゾーンのサポート、概要 1-5
IP ソース ガード 1-39
IP ソース ガードまたはスタティック ホスト 1-40
IP ルーティング プロトコル 1-18
IS-IS 1-19
Link Aggregation Control Protocol 1-7
MAC アドレス通知 1-32
NAC
　レイヤ 2 802.1X 認証 1-41
　レイヤ 2 IP 検証 1-41
NetFlow-lite 1-33
NetFlow 統計情報 1-32
NSF with SSO 1-22
OSPF 1-19
Power over Ethernet 1-33
PPPoE 中継エージェント 1-43
RIP 1-20
SPAN および RSPAN 1-34
uRPF ストリクト モード 1-43
VRF-lite 1-24
Web コンテンツの調整プロトコル 1-34
Web ベース認証 1-44
Wireshark 1-35
XML-PI 1-35
イーサネット CFM 1-3
イーサネット OAM プロトコル 1-4
イーサネット管理ポート 1-31
インサービス ソフトウェア アップグレード 1-20
インターネット グループ管理プロトコル（IGMP）スヌーピング 1-4
拡張オブジェクト トラッキング 1-15
仮想ルータ冗長プロトコル 1-24
簡易ネットワーク管理プロトコル 1-33
シスコ エクスプレス フォワーディング 1-15
ジャンボ フレーム 1-7
ストーム制御 1-43
双方向フォワーディング検出 1-14
タイム ドメイン反射率計 1-44
適切な Cisco Energy 1-25
デバイス センサー 1-15
デバッグ機能（プラットフォームおよび debug platform） 1-44
ハード ベースのコントロール プレーン ポリシング 1-39
ファイル システム管理（Supervisor 7-E および 7L-E） 1-31
ポート セキュリティ 1-42
ユニキャスト Reverse Path Forwarding 1-23
ユニバーサル Power over Ethernet 1-34
ルーテッド アクセスの OSPF 1-22
レイヤ 2 traceroute 1-44
カウンタ
　MFIB の削除 36-29
　インターフェイスのクリア 8-37
拡張オブジェクト トラッキング
　IP ルーティング ステート 58-2
　追跡リスト 58-3
　定義 58-1
　ラインプロトコル ステート 58-2
拡張範囲 VLAN
　「VLAN」を参照
仮想 LAN
　「VLAN」を参照
仮想コンフィギュレーション レジスタ 72-3

仮想ポート、MKA 44-3
仮想ルータ冗長プロトコル、概要 1-24
活性挿抜
「OIR」を参照
簡易ネットワーク管理プロトコル
「SNMP」を参照
環境モニタリング
CLI コマンドの使用 13-1
管理 VLAN
REP、設定 23-9
管理 VLAN、REP 23-9
管理アドレス TLV 30-2
管理オプション
SNMP 60-1
管理ポート、イーサネット 8-6

き

キーボード ショートカット 2-3
ギガビット イーサネット SFP ポート
10 ギガビット イーサネットの配置 8-13, 8-14
疑似ブリッジ
説明 21-26
機能の相互利用、Wireshark 57-6
キャッシュ エンジン 70-1
キャッシュ エンジン クラスタ 70-1
キャッシュ ファーム
「キャッシュ エンジン クラスタ」を参照
キャプチャ、制御パケット
モード選択 52-7
キャプチャ フィルタ、Wireshark 57-4
キャプチャ ポイント、Wireshark 57-2
キャプチャ ポイントのアクティブ化と非アクティブ化、Wireshark 57-11
キャプチャ ポイントの定義 / 変更 / 削除、Wireshark 57-8
キューイング 41-9
キュー制限、Supervisor Engine 6-E での QoS 41-33, 41-69
境界ポート
説明 21-28
共通およびインターナル スパニングツリー
「CIST」を参照
共通スパニングツリー
「CST」を参照
共有（帯域幅）、Supervisor Engine 6-E での QoS 41-28, 41-64
許可ステートおよび無許可ステートのポート 45-5
許可の変更、RADIUS 45-94
拒否、別の VLAN にあるサーバへのアクセスの 52-25
緊急アラーム、Supervisor Engine 6-E システムの 13-4

く

クアッドスーパーバイザ
アップリンク フォワーディング 5-6
組み込み CiscoView
インストールおよび設定 4-39
概要 4-39
情報の表示 4-42
組み込みマクロおよびユーザ定義のトリガー
マッピングの設定 20-10
クライアント
802.1X 認証 45-3
クライアント プロセス、トラッキング 58-1
クラスタリング スイッチ
概要 15-2
管理
CLI を使用した 15-13
計画の考慮事項
CLI 15-13
パスワード 15-8
コマンド スイッチの特性
VTY 15-12
コミュニティへの変換 15-10
クラスレベル、サービス ポリシーでの設定 41-33, 41-69
クラッシュファイル情報、アーカイブ保存 2-8
クリア

イーサネット CFM 64-32
クリティカル認証
802.1X の設定 45-60
グローバル コンフィギュレーション モード 2-5
クロスチェック、CFM 64-5, 64-12
クロック
「システム クロック」を参照

け

ゲートウェイ
「デフォルト ゲートウェイ」を参照
ゲスト VLAN
802.1X の設定 45-55
検出、クラスタ
「自動検出」を参照

こ

コア システム フィルタ、Wireshark 57-3
高 CPU、ACL による、トラブルシューティング 52-7
高速ドロップ
概要 36-11
高速リンク通知
VSL の障害 5-14
候補
自動検出 15-7
候補スイッチ、クラスタ
定義 15-12
コマンド
b 72-3
b flash 72-3
boot 72-3
confreg 72-3
dev 72-3
dir device 72-3
frame 72-5
i 72-3
meminfo 72-5
reset 72-3
ROM モニタ 72-2 ～ 72-3
ROM モニタのデバッグ 72-5
SNMP 71-4
sysret 72-5
リスト 2-5
コマンド スイッチ、クラスタ
要件 15-11
コマンドの省略 2-5
コマンド モード 2-5
コマンドライン処理 2-3
コミュニティ VLAN 43-2, 43-3
PVLAN としての設定 43-15
コミュニティ ストリング
概要 60-4
設定する 60-7
コミュニティ ポート 43-3
コンソール コンフィギュレーション モード 2-5
コンソール ダウンロード 72-4 ～ 72-5
コンソール ポート
ユーザ セッションの切断 9-7
ユーザ セッションのモニタリング 9-6
コントロール プレーン ポリシング
一般的な注意事項 49-3
概要 49-2
コントロール プレーン トラフィックの設定 49-4
設定時の注意事項および制約事項 49-8
データ プレーンおよび管理プレーン トラフィックの設定 49-5
デフォルト 49-4
モニタ 49-9
レイヤ 2 制御パケット QoS、設定例 49-15
コンバージェンス
REP 23-4
コンパイル、MIB の 71-4
コンフィギュレーション ファイル
保存 3-11
コンフィギュレーション レジスタ
ROM モニタからの変更 72-3

起動時の設定 3-29
設定 3-27
設定の変更 3-30
ブート フィールド
値の表示 3-30
変更 3-29
コンポーネント管理 TLV 30-3, 30-9

さ

サーバ ID
説明 66-24
サービス クラス
「CoS」を参照
サービス プロバイダー ネットワーク
カスタマー VLAN 28-2
サービス ポリシー、クラスレベル キュー制限の設定 41-33, 41-69
再送信回数
802.1X 認証の設定 45-84
再送信時間
802.1X 認証の変更 45-82
最大エージング タイム（STP）
設定 21-19
再認証、クライアントの
手動による設定 45-91
定期的なイネーブル化 45-78
削減された MAC アドレス 21-2
削除
IP マルチキャスト テーブル エントリ 36-28
サブドメイン、プライベート VLAN 43-2

し

シーケンス番号、ログ メッセージの 59-8
シェーピング、Supervisor Engine 6-E での QoS 41-26, 41-62
シェル機能
「Auto Smartports マクロ」を参照
シェル トリガー
「Auto Smartports マクロ」を参照
時間帯 4-12
しきい値のモニタリング、IP SLA 67-6
時刻
「NTP とシステム クロック」を参照
シスコ エクスプレス フォワーディング
「CEF」を参照
システム
起動時の設定 3-29
設定の確認 3-11
システム MTU
802.1Q トンネリング 28-5
最大 28-5
システム アラーム
概要 13-5
システム イメージ
指定 3-32
ブート フィールドの変更 3-29
フラッシュ メモリからの起動 3-32
システムおよびネットワーク統計情報、表示 36-24
システム記述 TLV 30-2
システム機能 TLV 30-2
システム クロック
概要 4-2
設定する
時間帯 4-12
手動で 4-11
夏時間 4-13
日時を表示する 4-12
「NTP」も参照
システム プロンプト、デフォルト設定 4-14
システム名
手動での設定 4-15
「DNS」も参照
システム名 TLV 30-2
システム メッセージ ロギング
UNIX Syslog サーバ
サポートされる機能 59-13

デーモンを設定する 59-11
ロギング機能を設定する 59-12
イネーブルにする 59-4
エラー メッセージの重大度を定義する 59-8
概要 59-1
機能キーワード、説明 59-13
シーケンス番号、イネーブルとディセーブル 59-8
設定を表示する 59-13
タイム スタンプ、イネーブルとディセーブル 59-7
ディセーブルにする 59-4
デフォルト設定 59-3
表示宛先デバイスを設定する 59-5
メッセージの形式 59-2
メッセージを制限する 59-10
レベル キーワード、説明 59-9
ログ メッセージの同期をとる 59-6
自動検出
考慮事項 15-7
自動設定 3-2
自動ネゴシエーション機能
強制 10/100 Mbps 8-21
シャットダウン
インターフェイス 8-38
ジャンボ フレーム
MTU サイズの設定 8-28
MTU の概要 8-27
VLAN インターフェイス 8-28
イーサネット ポート 8-28
サポートするポートおよびラインカード 8-26
サポートの概要 8-26
重大度、システム メッセージで定義する 59-8
集約スイッチ、DHCP スヌーピングのイネーブル化 51-10
受電装置、消費電力を設定する 14-5
手動によるプリエンプション、REP、設定 23-13
障害検出、BFD を使用 38-7
冗長構成（NSF）
設定
BGP 12-11
CEF 12-11
EIGRP 12-16
IS-IS 12-14
OSPF 12-13
冗長構成（SSO）
redundancy コマンド 12-10
冗長性
NSF 対応サポート 12-2
NSF 認識サポート 12-2
redundancy コマンド 10-8, 11-8
概要 10-2, 11-2
設定 10-8, 11-7
注意事項および制約事項 10-5, 11-6
SNMP による変更 10-12, 11-11
同期化の概要 10-4, 11-5
冗長性（NSF） 12-1
ルーティング プロトコル 12-5
冗長性（RPR）
Route Processor Redundancy 10-2, 11-3
同期化 10-5, 11-5
冗長性（SSO）
Route Processor Redundancy 10-3, 11-3
同期化 10-5, 11-5
消費される PoE の表示 14-8
使用例、Wireshark 57-20
シングル スパニングツリー
「SST」を参照
診断
Supervisor Engine V-10GE の電源投入時自己診断テスト 69-13
オンライン 69-1
電源投入時自己診断テスト
概要 69-10
機能 69-10
障害の原因 69-20
侵入検知システム
「IDS」を参照

す

スイッチ /RADIUS サーバ通信
　設定　45-32
スイッチド パケット
　ACL　52-27
スイッチド ポート アナライザ
　「SPAN」を参照
スイッチのコミュニティ
　Network Assistant のアクセス モード　15-9
　クラスタからの変換　15-10
　コミュニティ名　15-8
　設定情報　15-9
　通信プロトコル　15-8
　デバイスの追加　15-9
　パスワード　15-8
　ホスト名　15-8
スイッチ ポート
　「アクセス ポート」を参照
スイッチポート
　show interfaces　8-28, 8-30, 8-39, 8-40
スイッチング、NetFlow
　キャッシュ エントリのエクスポート　61-9
　収集のイネーブル化　61-7
　スイッチド IP フローの設定　61-8
　設定（例）　61-13
　必要なハードウェアの確認　61-6
スーパーバイザ エンジン
　ROM モニタ　3-27
　環境モニタリング　13-1
　冗長構成　12-1
　冗長へのアクセス　10-15, 11-14
　スタートアップ コンフィギュレーション　3-26
　スタティック ルート　3-12
　スタンバイへのファイルのコピー　10-15, 11-14
　設定　3-9 ～ 3-14
　設定の同期　10-11, 11-11
　デフォルト ゲートウェイ　3-12
　デフォルト設定　3-1
スケジューリング　41-9
スケジューリング、IP SLA 動作　67-5
スタティック ACL、要件を削除　52-30
スタティック アドレス
　「アドレス」を参照
スタティック ホストの IP ポート セキュリティ
　概要　51-25
スタティック ルート
　確認　3-13
　設定　3-12
スタブ ルーティング（EIGRP）
　概要　33-13, 33-14
　確認　33-19
　制約事項　33-18
　設定　33-14
　設定作業　33-19
　利点　33-18
スティッキ MAC アドレス
　設定　48-7
　定義　48-4
スティッキ ラーニング
　アドレスの保存　48-6
　イネーブル化　48-5
　コンフィギュレーション ファイル　48-6
　定義済み　48-5
　ディセーブル化　48-6
ストーム制御
　概要　55-1
　ソフトウェアベース、実装　55-2
　ハードウェアベース、実装　55-2
　表示　55-6
　ブロードキャストのイネーブル化　55-3
　マルチキャストのイネーブル化　55-4
すべての Auth Manager セッション、サマリーの表示　45-123
すべての Auth Manager セッション、特定の認証方式で認可されたスイッチ上での　45-123
スロット番号、説明　8-2

せ

正規の時刻源、説明 **4-2**

制御プロトコル、IP SLA **67-4**

制限事項、TwinGig コンバータ使用時の **8-15**

制限する、アクセスを

NTP サービス **4-8**

RADIUS **45-92**

TACACS+ **3-16**

セカンダリ VLAN **43-2**

プライマリとの関連付け **43-16**

ルーティングの許可 **43-23**

セカンダリ エッジ ポート、REP **23-4**

セカンダリ ルート スイッチ **21-12**

セキュリティ

設定する **49-1**

セキュリティ交換プロトコル

「SXP」を参照

セッション キー、MKA **44-2**

接続障害管理

「CFM」を参照

接続ポイント、Wireshark **57-3**

設定、VLAN マップの **52-18**

設定、インターフェイス リンクおよびトランク ステータス イベントの **8-38**

設定可能な脱退タイマー、IGMP **26-4**

設定、サービス ポリシーでのクラスレベル キュー制限の **41-33, 41-69**

設定時の注意事項

CFM **64-8, 65-4**

REP **23-7**

SNMP **60-6**

VLAN マッピング **28-10**

イーサネット OAM **64-36**

設定、名前付き IPv6 ACL の **52-16**

設定、名前付き MAC 拡張 ACL の **52-14, 52-15**

設定ファイル

DHCP で取得する **3-6**

TFTP サーバ アクセスを制限する **60-15**

システム接点と場所の情報 **60-15**

設定、フロー制御の **8-23**

設定、ユニキャスト MAC アドレス フィルタリングの **52-14**

設定例

SNMP **60-16**

設定、レイヤ 2 インターフェイス上でのアクセス グループ モードの **52-33**

選択、X2/TwinGig コンバータ モードの **8-15**

選択、電源管理モードの **13-9**

そ

送信元 ID

call home イベントの形式 **66-23**

即時脱退、IGMP

イネーブルにする **27-8**

即時脱退処理

IGMP

「即時脱退処理」を参照

イネーブル化 **26-9**

属性、RADIUS

ベンダー固有 **45-109**

ベンダー専用 **45-111**

速度

インターフェイスの設定 **8-20**

ソフトウェア

アップグレード **10-13, 11-13**

ソフトウェア QoS、Supervisor Engine 6-E で **41-42, 41-78**

ソフトウェア コンフィギュレーション レジスタ **3-27**

ソフトウェア スイッチング

インターフェイス **34-6**

使用する主なデータ構造 **36-8**

説明 **34-5**

た

ダイナミック ARP インスペクション

ARP キャッシュ ポイズニング **50-2**

ARP パケットのレート制限 **50-4**
設定 **50-16**
DoS 攻撃、回避 **50-16**
インターフェイスの信頼状態、セキュリティ適用範囲 **50-3**
概要 **50-1**
スタティック バインディングのプライオリティ **50-4**
設定
着信 ARP パケットのレート制限 **50-16**
ログ バッファ **50-14**
設定する
DHCP 環境での **50-5**
非 DHCP 環境の ACL **50-11**
妥当性チェック、実行 **50-19**
ドロップされたパケットのロギング **50-4**
ポート チャネル、その動作 **50-5**
目的 **50-2**
ログ バッファ
設定 **50-14**
ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ
再確認する **16-28**
トラブルシューティング **16-30**
ホスト上の制限 **16-30**
例 **16-31**
タイプ オブ サービス
「TOS」を参照
タイマー
「ログイン タイマー」を参照
対話、ベビー ジャイアント機能との **8-29**
ダウンロード、MIB の **71-3, 71-4**
タグ付きパケット
802.1Q **28-3**
レイヤ 2 プロトコル **28-13**
脱退タイマー、イネーブル化 **26-9**
単一スタティック RP、設定 **36-21**
単一方向イーサネット
イネーブル化 **32-2**
概要 **32-1**
設定例 **32-2**
単一方向制御ポート、802.1X の設定 **45-64**
単一方向リンク検出プロトコル
「UDLD」を参照
単一ホスト モード **45-7**

ち

注意
ユニキャスト RPF
オプションの BGP 属性 **35-4**

つ

追加、コミュニティへのメンバの **15-9**
追跡対象オブジェクト
しきい値重みによる **58-6**
しきい値パーセントによる **58-7**
ブール式の使用 **58-5**
追跡リスト
設定 **58-3**
タイプ **58-3**
追跡リスト内の重みしきい値 **58-6**
追跡リスト内のパーセントしきい値 **58-7**
追跡リスト内のブール式 **58-5**

て

ディスカバリ、イーサネット OAM **64-35**
ディセーブル化
ブロードキャスト ストーム制御 **55-5**
ディセーブル化、マルチキャスト ストーム制御 **55-5**
ディセーブル ステート
RSTP の比較（表） **21-25**
データベース エージェント
DHCP スヌーピングのイネーブル化 **51-14**
設定例 **51-16**
適用、レイヤ 3 インターフェイスへの IPv6 ACL の **52-18**

デバイス ID
Call Home の形式 66-22, 66-23
デバイス検出プロトコル 30-1
デバイス センサー
設定 45-115
デバッグ コマンド、ROM モニタ 72-5
デフォルト ゲートウェイ
設定 3-12
設定の確認 3-12
デフォルト設定
802.1x 45-28
DNS 4-16
IGMP スヌーピング 27-5, 27-6
IGMP フィルタリング 26-21
IP SLA 67-6
IPv6 53-7
LLDP 30-5
MAC アドレス テーブル 4-23
Multi-VRF CE 40-3
NTP 4-4
RADIUS 45-100
REP 23-7
RMON 68-3
SNMP 60-6
SPAN および RSPAN 56-7
TACACS+ 3-19
VLAN マッピング 28-9
Y.1731 64-30
イーサネット OAM 64-36
インターフェイスのリセット 8-41
システム メッセージ ロギング 59-3
バナー 4-17
プライベート VLAN 43-12
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 28-16
デフォルト設定、erase コマンド 3-34
デフォルトの Web ベース認証の設定
802.1X 47-6
デュプレックス モード
インターフェイスの設定 8-20
電源管理
Catalyst 4500 シリーズ 13-7
Catalyst 4500 スイッチの電源装置 13-13
Catalyst 4948 シリーズ 13-20
概要 13-1
冗長構成 13-7
冗長モードの設定 13-11
複合モードの設定 13-12
電源管理、Catalyst 4500 スイッチの
冗長モード 13-8
複合モード 13-9
電源管理 TLV 30-2, 30-3, 30-9
電源管理の制限事項、Catalyst 4500 スイッチでの 13-9
電源管理モード
選択 13-9
電源装置
Catalyst 4500 スイッチで利用可能な電力 13-13
可変 13-7, 13-20
固定 13-7
電源投入時自己診断テスト、Supervisor Engine V-10GE の 69-13
電源投入時自己診断テスト診断 69-10, 69-20
電子メール アドレス
call home の割り当て 66-4
電子メール通知
Call Home 1-25, 66-2
転送情報ベース
「FIB」を参照
転送遅延時間（STP）
設定 21-19
テンプレート、イーサネット OAM 64-46
電力
インライン 42-5
電力処理、Supervisor Engine II-TS に対する 14-12
電力ネゴシエーション
LLDP 経由 30-11
電力ポリシング、インターフェイスに表示する 14-14

と

統計情報
802.1X 47-15
802.1X の表示 45-122
LLDP 30-14
LLDP-MED 30-14
MKA 44-5
NetFlow 課金 61-10
PIM の表示 36-28
SNMP 入力と出力 60-17
到達可能性、IP SLA IP ホストのトラッキング 58-10
トークン リング
サポートされていないメディア（注） 16-5, 16-10
独立 VLAN 43-2, 43-3, 43-4
独立ポート 43-4
都市ロケーション 30-3
特権
終了 3-25
デフォルトの変更 3-24
レベルの設定 3-24
ログイン 3-25
特権 EXEC モード 2-5
トポロジ変更通知処理
MLD スヌーピング
トポロジ変更通知処理 27-4
ドメイン ネーム システム
「DNS」を参照
ドメイン名
DNS 4-15
トラストポイント 66-3
トラッキング、IP ルーティング ステートの 58-2
トラッキング、インターフェイス ラインプロトコル ステートの 58-2
トラッキング プロセス 58-1
トラック ステート、IP SLA のトラッキング 58-10
トラップ
MAC アドレス通知を設定する 4-24
MAC 移動通知の設定 4-27
MAC しきい値通知の設定 4-28
イネーブルにする 4-24, 4-27, 4-28, 60-11
概要 60-1, 60-4
通知タイプ 60-11
定義済み 60-3
マネージャを設定する 60-11
トラフィック
フラッドのブロッキング 54-2
トラフィック シェーピング 41-10
トラフィックの制御
ACL の使用（図） 52-4
VLAN マップの使用（図） 52-6
トラフィック マーキング手順のフローチャート 41-23, 41-58
トラブルシューティング
CiscoWorks での 60-4
traceroute での 9-9
システム メッセージ ロギングでの 59-1
トラブルシューティング、ACL による高 CPU の 52-7
トランク
802.1Q の制約事項 18-5
DTP をサポートしない装置のイネーブル化 18-4
アクセス VLAN の設定 18-6
インターフェイスのデフォルト設定 18-6
概要 18-3
許容 VLAN の設定 18-6
設定 18-6
ネイティブ VLAN の指定 18-6
トランク フェールオーバー
「リンクステート トラッキング」を参照
トランク ポート
PVLAN の設定 43-19 ～ 43-21
ポート セキュリティの設定 48-17
トランスレーショナル ブリッジ番号（デフォルト） 16-5
トンネリング
定義 28-1
トンネル ポート
802.1Q、設定 28-6

説明 28-2
他の機能との非互換性 28-5

な

夏時間 4-13
名前付き IPv6 ACL、設定
ACL
名前付き IPv6 ACL の設定 52-16
名前付き MAC 拡張 ACL
ACL
名前付き MAC 拡張の設定 52-14, 52-15

に

二重タグ付きパケット
802.1Q トンネリング 28-2
二重タグ パケット
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 28-15
入力パケット、SPAN 拡張機能 56-14
認可
RADIUS での 45-107
TACACS+ での 3-17, 3-22
認証
NTP アソシエーション 4-4
RADIUS
キー 45-101
ログイン 45-103
TACACS+
キー 3-19
定義済み 3-17
ログイン 3-20
「ポートベースの認証」も参照
認証、許可、アカウンティング（AAA） 49-1
認証局（CA） 66-3
認証サーバ
RADIUS サーバ 45-3
定義 45-3
認証失敗、80.1X の設定 45-69
認証プロキシ Web ページ 47-4
認証方式、Auth Manager に登録されている、確認 45-122
認証前オープン アクセス 45-8
認証前オープン アクセス。「ポートベースの認証」を参照

ね

ネイティブ VLAN
802.1Q トンネリング 28-4
指定 18-6
ネイバー オフセット番号、REP 23-5
ネットワーク エッジ アクセス トポロジ
「NEAT」を参照
ネットワーク管理
RMON 68-1
SNMP 60-1
設定 29-1
ネットワーク耐障害性 1-9, 21-23
ネットワーク タイム プロトコル
「NTP」を参照
ネットワーク デバイス アドミッション コントロール（NDAC） 44-9
ネットワーク トラフィック、マーク付け 41-20, 41-55
ネットワーク パフォーマンス、IP SLA で測定する 67-3
ネットワーク ポリシー TLV 30-2, 30-9

の

ノンストップ フォワーディング
「NSF」を参照

は

バーチャル プライベート ネットワーク
「VPN」を参照
ハードウェアおよびソフトウェア ACL のサポート 52-6
ハードウェア スイッチング 34-5

配置、10 ギガビット イーサネット ポートおよびギガビット イーサネット SFP ポートの　**8-13, 8-14**

配置、10 ギガビット イーサネット ポートおよびギガビット イーサネット SFP ポートの WS-X4606-10GE-E および Supervisor Engine 6-E への　**8-14**

パケット

　変更　**41-10**

パケット タイプ フィルタリング

　SPAN 機能拡張　**56-17**

　概要　**56-17**

パケットのデコードおよび表示、Wireshark　**57-5**

パスワード

　暗号化　**3-23**

　イネーブル シークレット パスワードの設定　**3-15**

　イネーブル パスワードの設定　**3-15**

　イネーブル パスワードを忘れた場合の回復方法　**3-26**

　回線パスワードの設定　**3-15**

　クラスタでの　**15-8**

パスワードに関する注意

　暗号化　**3-23**

バナー

　設定する

　　Message-of-the-Day ログイン　**4-18**

　　ログイン　**4-20**

　デフォルト設定　**4-17**

　表示時　**4-17**

範囲マクロ

　定義　**8-11**

ひ

非 IP トラフィック フィルタリング　**52-14, 52-15**

非 RPF トラフィック

　冗長構成（図）　**36-11**

　説明　**36-10**

光デジタル モニタ トランシーバのサポート　**8-19**

光ファイバ以外のインターフェイス

　UDLD のディセーブル化　**31-7**

光ファイバ インターフェイス

　UDLD のディセーブル化　**31-7**

非対称リンクと 802.1Q トンネリング　**28-4**

表示

　MAB の詳細　**45-125**

　インターフェイスの Auth Manager サマリー　**45-122**

　すべての Auth Manager セッションのサマリー　**45-123**

　特定の認証方式で認可されたスイッチ上でのすべての Auth Manager セッションの概要　**45-123**

表示、EtherChannel の Virtual Switch System への　**25-16**

表示、ストーム制御　**55-6**

表示の検出および削除イベント　**14-8**

表示フィルタ、Wireshark　**57-4**

標準範囲 VLAN

　「VLAN」を参照

ふ

フィルタ ID ACL とユーザ単位の ACL、ポートベースの認証の設定

　ユーザ単位の ACL とフィルタ ID ACL の設定　**45-44**

フィルタ、Wireshark　**57-3**

フィルタリング

　VLAN での　**52-19**

　非 IP トラフィック　**52-14, 52-15**

ブートストラップ プログラム

　「ROM モニタ」を参照

ブート フィールド

　「コンフィギュレーション レジスタのブート フィールド」を参照

フォールバック認証

　802.1X の設定　**45-74**

不揮発性ランダムアクセス メモリ

　「NVRAM」を参照

複数ドメイン認証　**45-34**

複数認証

　説明　**45-23**

複数認証および複数認可

設定 45-34
複数の転送パス 1-9, 21-23
複数ホスト モード 45-7
複製
説明 36-9
物理レイヤ 3 インターフェイス 33-2
物理レイヤ 3 インターフェイス、設定 33-12
プライオリティ
着信フレームの CoS の変更 42-5
プライオリティ キューイング、Supervisor Engine 6-E での QoS 41-31, 41-67
プライベート VLAN
DHCP スヌーピングのイネーブル化 51-13
SVI 43-10
エンド ステーション アクセス 43-3
コミュニティ VLAN 43-2, 43-3
コミュニティ ポート 43-3
サブドメイン 43-2
セカンダリ VLAN 43-2
デフォルト設定 43-12
独立 VLAN 43-2, 43-3, 43-4
独立ポート 43-4
トラフィック 43-9
複数のスイッチ間 43-5
プライマリ VLAN 43-2, 43-4
ポート
コミュニティ 43-3
独立 43-4
無差別 43-4
ポート セキュリティの設定 48-14, 48-15
無差別ポート 43-4
利点 43-2
プライマリ VLAN 43-2, 43-4
PVLAN としての設定 43-15
セカンダリ VLAN との関連付け 43-16
プライマリ エッジ ポート、REP 23-4
フラグ 36-12
フラッシュ メモリ
システム ソフトウェア イメージのロード 3-32
セキュリティ上の注意事項 3-32
ルータの起動元としての設定 3-33
フラッド トラフィック、ブロッキング 54-2
プリエンプション遅延時間、REP 23-5
ブリッジ ID
「STP ブリッジ ID」を参照
ブリッジ プライオリティ（STP） 21-17
ブリッジ プロトコル データ ユニット
「BPDU」を参照
プルーニング、VTP
「VTP プルーニング」を参照
フロー制御、設定 8-23
フローチャート、トラフィック マーキング手順 41-23, 41-58
ブロードキャスト ストーム制御
イネーブル化 55-3
ディセーブル化 55-5
ブロッキング ステート（STP）
RSTP の比較（表） 21-25
ブロッキング パケット 54-2
プロトコル タイマー 21-5
プロバイダー エッジ デバイス 40-2

へ

ベビー ジャイアント
対話 8-29

ほ

ポイントツーポイント
802.1X 認証（図） 45-3
ボーダー ゲートウェイ プロトコル
「BGP」を参照
ポート
REP 23-6
「インターフェイス」も参照
ステータスの確認 9-2
ダイナミック VLAN メンバーシップ

再確認 **16-28**
例 **16-31**
転送、再開 **54-3**
ブロッキング **54-2**
ポート ACL
音声 VLAN **52-5**
定義済み **52-3**
ポート VLAN ID TLV **30-2**
ポート記述 TLV **30-2**
ポート コスト（STP）
設定 **21-16**
ポート集約プロトコル
「PAgP」を参照
ポート ステート
説明 **21-6**
ポート セキュリティ
802.1X 認証を使用 **48-32**
802.1X の利用 **45-19**
DHCP と IP ソース ガードを使用 **48-31**
アクセス ポート上 **48-7, 48-22**
違反 **48-6**
エージング **48-5**
音声ポート上 **48-22**
スティッキ ラーニング **48-5**
設定 **48-7**
他の機能との **48-33**
注意事項および制約事項 **48-33**
トランク ポート上 **48-17**
注意事項および制約事項 **48-15, 48-18, 48-33**
ポート モードの変更 **48-22**
表示 **48-28**
プライベート VLAN 上 **48-14**
トポロジ **48-15, 48-18, 48-33**
ホスト **48-14**
無差別 **48-16**
ポート単位 VLAN アクセス コントロール リスト **51-21**
ポートチャネル
「EtherChannel」を参照
ポート チャネル インターフェイス
概要 **25-2**
作成 **25-7**
「EtherChannel」も参照
ポート番号設定、TwinGig コンバータによる **8-14**
ポート プライオリティ
MST インスタンスの設定 **21-33**
STP の設定 **21-13**
ポート ベース認証
VLAN ユーザ分散と **45-16**
単方向制御ポートを使用 **45-15**
ポートベース認証
イネーブル化
802.1x 認証 **47-10**
開始およびメッセージ交換 **45-4**
カプセル化 **45-3**
クライアント、定義済み **45-3, 47-2**
スイッチ
プロキシとして **47-2**
スイッチ サプリカント
概要 **45-24**
設定する **45-85**
設定
RADIUS サーバ **47-11**
スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ **47-10**
設定時の注意事項 **45-29, 47-7**
説明 **45-1**
デバイスの役割 **45-2, 47-2**
デフォルト値へのリセット **45-92**
デフォルト設定 **45-28, 47-6**
統計情報の表示 **45-122, 47-15**
認証サーバ
定義 **47-2**
方式リスト **45-29**
ポート セキュリティ
マルチホスト モード **45-7**
ホスト モード **45-6**
マルチ ホスト モード、説明 **45-7**
モード **45-6**

ポートベースの認証
ACL 割り当てとリダイレクト URL の使用 **45-20**
ACL 割り当てとリダイレクト URL の設定 **45-38**
MAC 認証バイパスを使用 **45-12**
MAC 認証バイパスを使用した設定 **45-58**
VLAN ユーザ分散を使用した設定 **45-66**
VLAN 割り当てを使用 **45-10**
イネーブル化 **45-29**
音声 VLAN を使用した 802.1X **45-22**
音声 VLAN を使用した設定 **45-71**
許可ステートの制御 **45-5**
クリティカル認証による設定 **45-60**
クリティカル認証を使用 **45-14**
ゲスト VLAN の設定 **45-32**
ゲスト VLAN を使用 **45-11**
ゲスト VLAN を使用した設定 **45-55**
再送信回数の設定 **45-84**
再送信時間の設定 **45-82**
サポートされないポート **45-5**
手動によるクライアントの再認証の設定 **45-91**
スイッチ /RADIUS サーバ通信の設定 **45-32**
設定
複数ドメイン認証および複数許可 **45-34**
待機時間の変更 **45-81**
単方向制御ポートを使用した設定 **45-64**
定期的な再認証のイネーブル化 **45-78**
トポロジ、サポート対象 **45-26**
認証失敗 VLAN 割り当て **45-17**
認証に失敗した設定 **45-69**
認証前オープン アクセス **45-8**
フォールバック認証の設定 **45-74**
複数ホストのイネーブル化 **45-80**
ポート上で 802.1X がどのように失敗するか **45-25**
ポート セキュリティを使用した利用 **45-19**
マルチドメイン認証 **45-23**
ホスト
ダイナミック ポート上の制限 **16-30**
ホスト表示 CDP メッセージ **45-8**
ホスト ポート
種類 **43-4**
ホスト モード、MACsec **44-4**
ホットスタンバイ ルーティング プロトコル
「HSRP」を参照
ホップ カウント
MST ブリッジの設定 **21-29**
ポリシーの関連付け、Supervisor Engine 6-E での QoS **41-40, 41-76**
ポリシー マップ マーキング アクション、設定 **41-24, 41-60**
ポリシング
「QoS ポリシング」を参照
実装方法 **41-19, 41-54**
ポリシング、PoE **14-12**

ま

マーキング
ハードウェア機能 **41-24, 41-60**
マーキングのサポート、マルチ属性 **41-23, 41-59**
マーク付け、アクション ドライバの **41-22, 41-58**
マーク付け、ネットワーク トラフィックの **41-20, 41-55**
マクロ
「Auto Smartports マクロ」を参照
「SmartPort マクロ」を参照
マルチ VRF CE
表示 **40-17**
モニタリング **40-17**
マルチオペレーションのスケジューリング、IP SLA **67-5**
マルチキャスト
「IP マルチキャスト」を参照
マルチキャスト HA **36-13**
マルチキャスト イーサネット ループバック（ETH-LB） **64-29**
マルチキャスト イーサネット ループバック、使用法 **64-32**
マルチキャスト クライアント エージングの堅牢性 **27-3**
マルチキャスト グループ
スタティックな加入 **27-7**

マルチキャスト ストーム制御
イネーブル化 55-4
ディセーブル化 55-5
マルチキャスト転送情報ベース（MFIB） 36-12
マルチキャストの実装
HA 36-13
MFIB 36-12
S/M,224/4 36-13
マルチキャスト パケット
ブロッキング 54-2
マルチキャスト ルータ
フラッディングの抑制 26-12
マルチキャスト ルータ インターフェイス、表示 26-18
マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリング 27-11
マルチキャスト ルータ検出 27-3
マルチキャスト ルータ テーブル
表示 36-24
マルチキャスト ルータ ポート、追加する 27-8
マルチ スパニングツリー
「MST」を参照
マルチドメイン認証
「MDA」を参照
マルチドメイン認証モード 45-7
マルチ認証モード 45-8

む

無差別ポート
PVLAN の設定 43-17
設定モード 43-24
定義 43-4

め

明示的ホスト トラッキング
イネーブル化 26-11
メッセージ、イーサネット OAM 64-35
メッセージ、ユーザに対するバナーを使用した 4-17
メトロ タグ 28-2
メンバ
自動検出 15-7
メンバ スイッチ
管理する 15-13
メンバ スイッチ、クラスタ
定義 15-2

も

モード、制御パケットのキャプチャの、選択 52-7
モジュール
ステータスの確認 9-1
電源切断 13-20
モジュールで消費される PoE の表示 14-8
モニタリング
802.1Q トンネリング 28-19
ACL 情報 52-37
Flex Link 22-13
IGMP
スヌーピング 27-11
IGMP スヌーピング 26-15
IGMP フィルタリング 26-24
MAC アドレス テーブル移動更新 22-13
REP 23-14
VLAN フィルタ 52-26
VLAN マップ 52-26
イーサネット CFM 64-32, 64-33
イーサネット OAM 64-50
イーサネット OAM プロトコル 64-50
オブジェクト トラッキング 58-13
スイッチ間でのトラフィック フロー 68-1
トンネリング 28-19
マルチ VRF CE 40-17
マルチキャスト ルータ インターフェイス 27-11
レイヤ 2 プロトコル トンネリング 28-19
モニタリングとトラブルシューティング
BFD 38-17

ゆ

ユーザ EXEC モード　2-5
ユーザ セッション
　切断　9-7
　モニタリング　9-6
ユーザ単位の ACL とフィルタ ID ACL、設定　45-44
ユーザ定義イベント トリガー
　設定、802.1X ベース　20-9
　設定、MAC アドレス ベース　20-9
ユーザ定義のトリガーおよび組み込みマクロ
　マッピングの設定　20-10
ユニキャスト
　「IP ユニキャスト」を参照
ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング
　CPU パケットと　4-31
　スタティック アドレスを追加する　4-31
　設定時の注意事項　4-31
　説明　4-31
　ブロードキャスト MAC アドレスと　4-31
　マルチキャスト アドレスと　4-31
　ルータ MAC アドレスと　4-31
ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング、設定
　ACL
　　ユニキャスト MAC アドレス フィルタリングの設定　52-14
ユニキャスト RPF（ユニキャスト Reverse Path Forwarding）
　BGP 属性
　　注意　35-4
　CEF
　　テーブル　35-7
　　要件　35-2
　FIB　35-2
　エンタープライズ ネットワーク（図）　35-6
　確認　35-10
　　失敗　35-3, 35-4
　　送信元アドレス　35-3
　　パケット、ドロップ　35-3
　実装　35-4
　制約事項
　　基本　35-8
　　ルーティングの非対称性　35-7
　　ルーティングの非対称性（図）　35-8
　セキュリティ ポリシー
　　攻撃、軽減　35-5
　　適用　35-5
　　展開　35-5
　　トンネリング　35-5
　設定　35-9
　　BOOTP　35-8
　　DHCP　35-8
　　エンタープライズ ネットワーク（図）　35-6
　　確認　35-10
　　作業　35-9
　　前提条件　35-9
　　ルーティング テーブルの要件　35-7
　　（例）　?? ～ 35-12
　説明　1-23, 35-1
　前提条件　35-9
　送信元アドレス、確認　35-3
　　失敗　35-3
　　（図）　35-3, 35-4
　ディセーブル化　35-11
　適用　35-5
　展開　35-5
　トラフィック フィルタリング　35-5
　トンネリング　35-5
　パケット、ドロップ（図）　35-4
　ルーティング テーブルの要件　35-7
ユニキャスト トラフィック
　ブロック　54-2
ユニキャスト フラッディング ブロック
　設定　54-1
ユニバーサル PoE、設定　14-17

よ

予約範囲 VLAN
「VLAN」を参照

ら

ラピッド スパニングツリー
「RSTP」を参照
ラベル、定義 **41-4**
ランデブー ポイント、設定 **36-18**
ランデブー ポイント、単一スタティックの設定 **36-21**

り

リスニング ステート（STP）
RSTP の比較（表） **21-25**
リセット、インターフェイスのデフォルト設定への **8-41**
リセット、スイッチのデフォルトへの **3-34**
リダイレクト URL、ポートベースの認証 **45-20**
リモート障害表示 **64-35**
リモート ネットワーク モニタリング
「RMON」を参照
リモート ループバック、イーサネット OAM **64-35, 64-38**
略語、リスト **A-1**
リリース 7.7 の新しいソフトウェア機能
TDR **9-3**
履歴
CLI **2-4**
履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと番号 **59-10**
リンクおよびトランク ステータス イベント
インターフェイスの設定 **8-38**
リンク完全性、REP を使用した確認 **23-4**
リンク ステータス、UDLD を表示する **31-8**
リンク ステート トラッキング
一般的な設定の手順 **25-23**
ステータスの表示 **25-24**
デフォルト設定 **25-23**
リンクステート トラッキング
設定時の注意事項 **25-23**
説明 **25-20**
リンク モニタ、イーサネット OAM **64-35, 64-40**
隣接関係テーブル
説明 **34-2**
統計情報の表示 **34-9**

る

ルータ ACL
VLAN マップとの併用 **52-27**
説明 **1-42, 52-3**
ルータ ACL、PACL の VLAN マップとの併用 **52-35**
ルーテッド アクセスの OSPF、概要 **1-22**
ルーテッド パケット
ACL **52-28**
ルート ガード
MST **21-24**
イネーブルにする **24-2**
概要 **24-2**
ルート ターゲット
VPN **40-3**
ルート ブリッジ
MST での選択 **21-23**
設定 **21-10**
ルート マップ
PBR **39-2**
定義 **39-6**
ループ ガード
MST **21-24**
概要 **24-3**
設定 **24-5**

れ

レイヤ 2 traceroute
1 ポートに複数のデバイス **9-11**

ARP 9-10
CDP 9-10
IP アドレスおよびサブネット 9-10
MAC アドレスおよび VLAN 9-10
使用上の注意事項 9-10
ホスト間パス 9-10
マルチキャスト トラフィック 9-10
ユニキャスト トラフィック 1-44, 9-10
レイヤ 2 アクセス ポート 18-8
レイヤ 2 インターフェイス
ACL の設定の表示 52-34
ACL の適用 52-34
IPv4、IPv6、および MAC ACL の設定 52-32
PVLAN トランク ポートとしての設定 43-19
PVLAN ホスト ポートとしての設定 43-18
PVLAN 無差別ポートとしての設定 43-17
show interfaces コマンド 18-7
VLAN の割り当て 16-8
アクセス モードの設定 52-33
設定 18-5
設定のディセーブル化 18-9
デフォルト 18-5
モード 18-3
レイヤ 2 インターフェイスのタイプ
設定 43-24
リセット 43-24
レイヤ 2 スイッチング
概要 18-1
レイヤ 2 制御パケット QoS
イネーブル化 49-12
および CoPP の設定例 49-15
概要 49-11
注意事項および制約事項 49-16
ディセーブル化 49-13
デフォルトの設定 49-12
レイヤ 2 トランク
概要 18-3
設定 18-6
レイヤ 2 フレーム
CoS による分類 41-2
レイヤ 2 プロトコル トンネリング
注意事項 28-16
デフォルト設定 28-16
レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウンしきい値 28-16
レイヤ 2 プロトコル パケットのドロップしきい値 28-16
レイヤ 3 インターフェイス
インターフェイスとしての VLAN 設定 33-7
概要 33-1
SVI 自動ステート除外 33-3
カウンタ 33-3
物理 33-2
論理 33-2
設定時の注意事項 33-5
レイヤ 2 モードからの変更 40-7
レイヤ 3 インターフェイス、IPv6 ACL の適用 52-18
レイヤ 3 インターフェイス カウンタ、概要 33-3
レイヤ 3 インターフェイス カウンタ、設定 33-10
レイヤ 3 パケット
分類方式 41-2
レイヤ 4 ポート演算
制約事項 52-10
設定時の注意事項 52-11
レポート抑制、IGMP
ディセーブルにする 27-11
連絡先情報
call home の割り当て 66-4

ろ

ロード バランシング
CEF の設定 34-7
EtherChannel の設定 25-15
宛先別 34-7
概要 25-5, 34-6
ロード分割、IP マルチキャスト トラフィックの 36-22
ロギング、EPM 45-126

ログイン タイマー
　変更　**9-6**
ログイン認証
　RADIUS での　**45-103**
　TACACS+ での　**3-20**
ログイン バナー　**4-17**
ログ メッセージのタイムスタンプ　**59-7**
ロケーション TLV　**30-3, 30-9**
ロケーション サービス
　概要　**30-1, 30-3**
　設定　**30-12**
論理レイヤ 3 VLAN インターフェイス　**33-2**
論理レイヤ 3 インターフェイス
　設定　**33-6**